
バカとテストとけいおん部

yosi4128

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストとけいおん部

【Nコード】

N0577X

【作者名】

y o s i 4 1 2 8

【あらすじ】

バカとテストと召喚獣の世界にけいおんの5人がいたらという二次創作です。けいおんの世界からはけいおん部の五人しか登場しません。けいおん部の5人は明久に恋しています。梓は明久や唯などと同級生という設定にしております。一部原作ブレイクします。明久×瑞希・明久×美波・明久×秀吉にもなると思います。明久はハレム状態?になると思います。木下秀吉は女子という設定になっていて一部原作設定が違います。明久の学力は教師レベルに設定しております。こんな設定は嫌だという人はスルーして下さい。作者

はバカとテストと召喚獣の原作は小説しか知りません。けいおんに
関してはアニメしか知りません。

けいおんのキャラの設定（前書き）

作者のYosida128です。文才のない私が書く小説ですが、読んでいただければ幸いです。

けいおんのキャラの設定

平沢 唯（ひらさわ ゆい）

所属クラス 2 - F

Aクラス下位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。平沢憂並の家事能力を持っている。明久のことは、ナイトと呼んでいる。

得意科目 現代国語 古典 社会系の科目（500点ぐらい）

苦手科目 数学 保健体育（150点ぐらい）

秋山 澪（あきやま みお）

所属クラス 2 - F

Aクラス上位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。明久のことは、旦那様と呼ぶ。

得意科目 数学 理科系の科目（450点ぐらい）

苦手科目 保健体育（250点ぐらい）

田井中 律（たいなか りつ）

所属クラス 2 - F

Fクラス並の学力なので、普通に振り分け試験は受けた。Fクラスのムードメーカー的存在である。
明久のことは、アツキーと呼んでいる

得意科目 なし

苦手科目 全教科

琴吹 紬 (ことぶき つむぎ)

所属クラス 2 - F

Aクラス上位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。明久のことは、明久様と呼ぶ。明久を婚約者にしたいと両親に頼んでいる。

得意科目 なし

苦手科目 なし

全科目 400点以上

なかの あずさ
中野 梓

所属クラス 2 - F

Aクラス主席並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くため

に振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。
明久のことは、アキ様と呼んでいる。

得意科目 数学 理科系以外の科目 (550点ぐらい)

苦手科目 数学 理科系の科目 (350点ぐらい)

けいおんのキャラの設定（後書き）

バカテストはどうしたらいいのか皆様の意見をお聞かせ願えればありがたいです。

バカテスキャラの設定（前書き）

連続投稿はきついですね。これからは更新がかなり遅くなると思います。

バカテスキャラの設定

吉井 明久 （よしい あきひさ）

所属クラス 2 - F

原作と違う点

教師並の学力（担当科目教師以上の点数を取れる）

本来なら2 - Aクラスの代表。仕送りは計画的に使っていて、人並みの生活を送っている。

自分の恋愛に関しては鈍感ではなくなっていて、人並みである。

雄二とは悪友ではなく親友である。

観察処分者ではないが、召喚獣の操作技術は学年トップ。

得意科目 全て （800点以上）

姫路 瑞希 （ひめじ みずき）

所属クラス 2 - F

原作と違う点

料理に科学薬品は使わないため、絶品料理を作る。

明久に暴力やお仕置きはしなくなっている。

学力は学年次席並み （久保とは総合科目600点差ぐらい）

明久のことをすでに明久君と呼んでいる。

得意科目 数学 （550点以上）

苦手科目 なし

島田 美波 (しまだ みなみ)

所属クラス 2 - F

原作と違う点

明久に暴力やお仕置きはしなくなっている。
明久に対して照れ隠しはしていない。
自分に素直になっている。
明久のことをすでにアキと呼んでいる。

得意科目 数学 英語 (250点ぐらい)

苦手科目 古典 現代国語 (50点ぐらい)

坂本 雄二 (さかもと ゆうじ)

所属クラス 2 - F

原作と違う点

Fクラス代表だが、Aクラス主席並みの学力。
明久の中には悪友ではなく、親友である。

得意科目 なし

苦手科目 なし

全科目 450点ぐらい

木下 秀吉 (きのした ひでよし)

所属クラス 2-F

原作と違う点

明久に恋心を抱いている。また女子であるということ。

得意科目 なし

苦手科目 全て (80点ぐらい)

他の原作キャラは設定は変えていくつもりは現在はない。

バカテスキャラの設定（後書き）

バカテストのアイデアが思いつきません。皆様の意見を頂けるとうれしいです。

今回はプロローグの予定ですが、いつ投稿できるかは未定です。

バカテスト 第1問（前書き）

バカテストが思いついたので先に投稿します。アクセス数が500を超えているのでびっくりしました。文才のない私の作品ですが、これからもよろしく願います。

バカテスト 第1問

バカテスト 第一問 保健体育

問 以下の問いに答えなさい。

『女性は何（ ）を迎えることで第二次性徴調期になり、特有の体つきになり始める』

姫路瑞希・吉井明久・中野 梓の答え

『初潮』

教師のコメント

正解です。3人とも流石ですね。

平沢 唯

『ナイト（明久）とのデート』

教師のコメント

あなたは吉井君のことが好きなのですか。先生は応援しています。ですが、もう少し保健体育を勉強して下さい。

秋山 澪の答え

『恥ずかしくて書けません。』

田井中 律の答え

『先生のエッチ』

教師のコメント

決してそのようなことで問題は出題していません。秋山さんも恥ずかしい事はありませんので、テストに集中して下さい。

琴吹 紬の答え

『明久様とのS○X』

教師のコメント

なんと、琴吹さんいっただうしたのですか？そういったことは、結婚してからにしましょう。それにしてもあなたも吉井君ですか。いえ決して羨ましいなどとは思っていません。

琴吹 紬のコメント

他にも明久様を好きな娘がいるのですか！！

土屋康太の答え

『初潮と呼ばれる、生まれて初めての生理。医学用語では、生理のことを月経、初潮のことを初経という。初潮年齢は体重と密接な関係にあり、体重が43kgに達するころに初潮をみるものが多い為、

その訪れる年齢には個人差がある。日本では平均十二歳。また、体重の他にも初潮年齢は人種、気候、社会的環境、栄養状態などに影響される』

教師のコメント
詳し過ぎです。

バカテスト 第1問（後書き）

次こそはプロローグを投稿できればと考えていますが、どうなるかは作者にも判りません。感想や作品のアドバイスなどお待ちしております。感想やレビュー・ポイントは作者の励みになりますので、よろしく願います。これが少ないと作者は創作意欲が出ません（笑）

第0話 プロローグ（前書き）

なんとか完成したので投稿します。次回の投稿は未定です。感想の返信などができずに申し訳ありません。必ず返事はしたいと思います。

第0話 プロローグ

ある日の5人の会話

唯「皆、私好きな人ができちゃったんだよ。」

律「おう唯、それは誰なんだ？」

唯「それは吉井明久君だよ。私のナイトなんだ。ナンパされてるときに助けてくれてさあ。」

唯のこの一言で他のメンバーは、ライバルが増えたと思った。

梓「唯もアキ様のことが好きなんですか！？駄目ですアキ様と恋人になるのは私です。」

律「おいおい梓何を言っている？アッキーと恋人になるのは私だ！」

梓「律こそ何を言っている。律みたいながさつな女の子は明様の好みではないよ。」

澪「まあまあ二人とも落ち着ちてくれよ。唯も梓も律も何を言っているんだ？旦那様と恋人になるのはこの私だ！！」

ムギ「澪ちゃんも何を言ってるの？明久様と恋人どころか婚約者になるのは私よ！？」

唯「だったら皆でナイトの恋人になればいいんじゃない。」

律「それは名案だな、唯。皆はどうだ？」

ムギ「私はそれでいいわ。明久様に愛してもらえるなら」

梓「いいですよ。皆さんを超えて私がアキ様の一番になりますから」

漣「皆がいいならいいよ。」

律「じゃこれからは私達は恋する仲間ってことだな。」

唯「これからは皆で互いにサポートしていくってことだね。」

梓「アキ様はAクラスの代表になるはずですから、私達はAクラス入りすればいいってことですよね。」

漣「だが、ここに一人問題のあるやつがいるぞ？なあ律？」

律「漣、私がバカだとも言いたいのか？」

漣「違うのか？」

律「私だってAクラスに入れるぞ！！」

漣「律、三権分立の司法と国会とあとひとつはなんだ。」

律「なめるなよ漣。二つまで答えが絞れるぜ。」

漣「ほう？二つ？」

律「漢方が憲法のどちらかだ!!」

漣「馬鹿。行政だ!!」

ボコっという音が響いた

律「何するんだよ漣!!私の頭を殴ることはないだろう。」

梓「律はAクラスどころかFクラス確定ね(汗)」

律「おい梓なんてことを言うんだ。」

唯「ごめんりっちゃん。あずにゃんの言うとおりだよ。」

律「ムギ皆が私をいじめるよ(泣)」

ムギ「ごめん。りっちゃん皆の言っていることは間違っていないわ。」

律「皆なんか嫌いだ!!」

唯「まあまありっちゃん。私達がナイトと仲良くなってりっちゃんと接点つくるから。」

律「本当か唯。じゃ恋の共同連盟を作ろうぜ。」

5人「解った(わ) (ぜ)」

こうして5人は明久の恋人になるための共同戦線を誓ったのであった。

第0話 プロローグ（後書き）

いかがでしたでしょうか。私はまったく自身がありません。ですがこれからも精一杯書いていこうと思います。次回はバカテストの予定です。

バカテスト 第2問（前書き）

バカテスト第2問投稿です。なかなか考えるのが難しいです。

バカテスト 第2問

問題 第二問 国語

以下の意味を持つことわざを答えなさい

(1) 得意な事でも失敗してしまう事

(2) 悪い事があつたうえに、更に悪い事が起きる喩え

姫路瑞希・琴吹紬の答え

(1) 弘法も筆の誤り

(2) 泣きつ面に蜂

吉井明久・中野梓の答え

(1) 河童の川流れ

(2) 踏んだり蹴ったり

平沢唯・秋山澪の答え

(1) 猿も木から落ちる

(2) 弱り目に祟り目

教師のコメント

正解です。Aクラスレベルには簡単な問題でしたね。

田井中律の答え

(1) 猿も木から蹴り落とす

(2) 泣きつ面蹴ったり

教師のコメント

あなたは鬼ですか。

土屋康太の答え

(1) 弘法の川流れ

教師のコメント

シユールな光景ですね。

島田美波の答え

(1) アキの女装姿に猿も木から落ちるほど可愛い

(2) アキのメイド姿でご奉仕

教師のコメント

あなたも吉井君ですか。いったい吉井君は何人の女子から好意を持たれているのでしょうか(泣)

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

島田さんあなたもなの？私達の敵よ！！絶対負けないから。

バカテスト 第2問（後書き）

次回は何を投稿するのか案が浮かばないので間がかなりあくと思います。感想やバカテストのアイデア作品への要望やアドバイスなどお待ちしております。

第1話 試召戦争編 開幕（前書き）

書きあがったので投稿します。小説を創るのは疲れますね。気がついたらこんな時間になっていました。

第1話 試召戦争編 開幕

西村 「吉井 おはよう」

玄関で呼び止められる。

声のした方を見ると、そこには、浅黒い肌をした短髪のいかにもスポーツマン然とした男が立っていた。

明久 「あ、西村先生。おはようございます」

軽く頭を下げて挨拶をする。 なにせ相手は教師だ礼儀をはらわないといけない。

西村 「吉井、受け取れ。」

先生が箱から封筒を取り出し、僕に差し出してくる。宛て名の欄には『吉井明久』と、大きく僕の名前が書いてあった。

明久 「受け取らなくても結果はわかっていますから。」

西村 「一応は規則なんだな。渡しておかないとな。残念だったな。テストを受けていれば学年主席どころか教師並みの成績だったのにな」

吉井 「それでも姫路さんを放っておくことはできませんでした。」

西村 「一応再試験ということで講義したんだがな。試験担当教師と学園長だけが認めなかった。規則は規則だといってな」

吉井 「先生のその気持ちだけでもうれしいです。」

西村 「そうか。来年は頑張ってくれよ。」

明久 「はい。では、Fクラスに行きます。失礼します。西村先生」

そうして明久はFクラスに向かった。

それから少ししてあの5人が来た。

唯 「おはようゝ西村先生」

漣・ムギ・梓 「おはようございます。西村先生。」

律 「おはよう。鉄人先生。」

西村 「おはよう。田井中俺の名前は鉄人ではないぞ。」

田井中 「それはすいません。鉄村先生。」

西村 「田井中！鉄人と俺の名前を合わせて斬新な名字を作るな！俺の名前は西村だ。」

ポコっという音が響いた。

田井中 「痛いじゃないですか。西人先生。」

西村 「もう一発殴られたいみたいだな。」

唯・漣・ムギ・梓 「すみません。西村先生」

西村 「田井中は後で補修だ。振り分け試験の結果だ。しかし、俺も長年教師をしてきたが、全教科名前なしの答案は初めて見たぞ。」

唯 「あれ？名前書いていませんでした？」

漣 「名前を書いたはずですが。」

ムギ 「私も書いたと思います。」

西村 「俺は誰がとは言っていないぞ。やはりわざとだったのか。狙いは何だ？4人はAクラスに入れたはずだが。」

唯 「ナイトのいないAクラスは意味がありません。」

漣 「旦那様のいないAクラスには興味がありません。」

ムギ 「明久様と同じクラスがいいんです。」

梓 「アキ様のいるクラスじゃないと意味がないです。」

西村 「吉井が憎い位に好感をもたれているな。田井中はFクラスが当たり前だな。」

田井中 「ちょっと待って下さい。私がFクラスなのは常識なのですか！？」

西村 「お前が馬鹿なのは、去年からのことからだろ。もういい早くクラスに行け。」

5人 「では失礼します。西村先生（西村鉄人）」

西村 「田井中は放課後補習室まで来い。」

こうして5人はFクラスに向かった。

第1話 試召戦争編 開幕（後書き）

いかがでしたでしょうか？次回はバカテストを予定しています。作品に対する感想やアドバイス、バカテストのアイデアなどお待ちしております。

バカテスト 第3問（前書き）

バカテスト考えるのが大変ですね。ネタが浮かびません。バカテストのアイディアを心からお待ちしています。

バカテスト 第3問

問題 第二問 化学

『調理の為に火にかける鍋を制作する際、重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。このときの問題とマグネシウムの代わりに用いるべき合金の例を1つあげなさい』

姫路瑞希・吉井明久・中野梓・秋山澪・琴吹紬の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるという点』

合金の例……ジュラルミン』

教師のコメント

正解です。合金なので鉄ではダメと言うひっかけ問題なのですが、皆さんは引っかけかりませんでしたね。

平沢唯の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるという点』

合金の例……鉄』

教師のコメント

問題点は正解なのですが、合金の例なので鉄では不正解です。

土屋康太の答え

『問題点……ガス代を払ってなかった事』

教師のコメント

そこは問題じゃありません。

田井中律の答え

『合金の例……未来合金（↑すごく強い）』

教師のコメント

すごく強いと言われても

木下秀吉の答え

『問題点……明久と私が熱々のカップルという点

合金の例……私の演劇魂』

教師のコメント

問題点、合金の例共に間違っています。合金に関してはどうやった

ら作れるのでしょうか？

問題点に関しては木下さんと吉井君はお付き合いしているのですか？

あなたも吉井君ですか。彼はいつたい何人の女性から好かれているのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

木下さんあなたもなの？ 私達の敵よ！！絶対負けないから。

木下秀吉のコメント

それは私のセリフよ。明久は私のだもの。

島田美波の答え

『問題点……鍋を創ったこと。』

合金の例……アキに対するうちの愛で作る合金』

教師のコメント

問題点、合金の例共に間違っています。合金に関してはどうやったら作れるのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

島田さん彼のことはあきらめてよ。

島田美波のコメント

無理よ。うちとアキは一緒に添い遂げるのだから。

バカテスト 第3問（後書き）

次回はFクラスでの自己紹介になると思います。次回の更新は水曜日になると思います。なぜなら作者が火曜日までテストなものですから。感想、作品への要望等お待ちしております。

第2話 試召戦争編 自己紹介（前書き）

テストが終わったので、投稿を再開します。

第2話 試召戦争編 自己紹介

2年Fクラス 初日のHR

福原 「おはようございます。Fクラスの担任を務めます……」

担任らしい教師は、薄汚れた黒板に視線をやり手を伸ばそうとして……視線を皆の方に戻した。

福原 「福原慎です。よろしくお願いします。」

明久 「……チョークすらまともにないんですか？ 良く見たら黒板消しもないんですか（汗）」

福原 「後で申請しておきますので、授業には間に合はずです。」

全員が改めて、ここが最悪の環境であることを実感した。

福原 「皆さん全員に、卓袱台と座布団は支給されてますか？ 不備があれば、申し出てください」

不備という言葉に、全員がありますと言わんばかりに名乗り出た。

モブ1 「俺の座布団、綿が入ってないんですけど」

福原 「我慢してください。」

モブ2 「俺の卓袱台、脚が折れてます。」

福原 「木工ボンドが支給されてるので、後で自分で直してください。」

モブ3 「窓が割れてて、隙間風が寒いんですけど。」

福原 「ビニール袋とセロハンテープを申請しておきますので、後で直してください。」

1つ1つの質問を丁寧に応えていく福原教諭。

しかし大半が大きく分けて“我慢してください”か、“自分で何とかしてください”の2択のみ。

学力最低クラスのFクラスの教室である。

福原 「必要なものがあつたら、極力自分で調達する様にしてください」

明久 「これがFクラスですか……」

福原 「そういう事です。これがこの学園の方針ですから、不満があるならしっかりと勉強して来るべき試召戦争に勝ちあがってください。それでは、自己紹介をお願いします。そうですね、廊下側の人からお願いします。」

と言われ、まずは廊下側の一番最後に座っている秀吉が立ち上がった。

「木下秀吉です。演劇部に所属しています。今年1年間、よろしくお願いします。」

彼女にしたいランキング上位にランクインしている。しかし、告白されても明久一筋なため告白を全て断っている。

ムツツリー二 「……土屋康太」

次にムツツリー二事、本名土屋康太。

本名は知られておらず、異名であるムツツリー二の名は割と知られている存在である。

美波 「島田美波です。海外育ちで日本語は会話是可以るけど、読み書きが苦手です。あ、でも英語はそこそこできます。育ちはドイツだったので。趣味は……」

一旦区切り、明久をちらりと見てから一言。

「吉井明久です。」

ほぼ全員が明久に対してカッターを構えるが、明久は畳を全力で殴り威嚇した。

畳がボコツと凹んだ。

畳を壊した明久を見て構えた全員が萎縮してしまった。

全員が本能で察知し、逆らわないことを誓った。

次は明久の番となり、軽く咳ばらいをした。

明久 「吉井明久です。Fクラスにいますが、去年は学年主席でした。一年間よろしく願います。」

モブ達 「何ー！！！！！！」

モブ1 「何故Fクラスに？」

明久 「振り分け試験を途中退席したので…」

モブ達 「なるほど。」

そうして次の人の自己紹介が始まる。

唯 「平沢唯です。好きなものは美味しいお菓子とナイト（明久）です。一年間よろしく」

モブ達 「うおおおお。女子だ。今年のFクラスは女子が多くて万歳だな。」

漣 「秋山漣です。好きなものはかわいいぬいぐるみです。一年間よろしくおねがいします。」

モブ1 「秋山さん俺と付き合ってください。」

モブ2 「抜け駆けするな。俺と結婚して下さい。」

漣 「ごめんなさい。旦那様がいるから無理です。」

漣は顔を赤くしながら言った。

モブ達「そんな（泣）」

律「田井中律だ。好きな人はアッキーだ。一年間よろしく。」

モブ達「またしても吉井か。羨ましすぎる。」

ムギ「琴吹紬です。明久様とは婚約者なのでよろしくお願いします。一年間よろしくお願いします。」

モブ達「吉井はギャルゲの主人公だな（泣）」

梓「中野梓です。アキ様と結ばれるのは私です。一年間よろしくお願いします。」

モブ達「吉井もてる秘訣は何だ？」

明久「秘訣って言われても…（汗）」

ガラッ！

瑞希「あの、遅れて、すいま、せん……」

モブ達「えっ？」

そこへ、息を切らせて胸に手を当てている女子生徒が現れた。

その姿に、男子生徒全員が意外を通り越したかのように驚いた声がかかる。

福原「ちょうどです。今自己紹介をしているところなので、姫路

さんをお願いします。」

瑞希 「は、はい！ あの、姫路瑞希と言います。よろしく願います！」

途中から尻すばみな自己紹介を終えて、小柄な体を縮み込ませた。

モブ1 「はいっ、質問です！」

瑞希 「あ、はいっ。なんですか？」

モブ1 「何でここにいるんですか？」

傍から見れば失礼な質問ではあったが、ほぼ全員（明久と唯達を除く）がそう思っていた事だった。

彼女は容姿も人目を引く程で、テストでは1ケタの順位に必ず名を連ねている学力の持ち主でもある。

当然こんな場所に来るべき人間ではなく、最高設備であるAクラスに入っている物と誰もが思う事。

だからこそ、この質問はある意味必然なものだった。

瑞希 「そ、その……振り分け試験の最中、高熱を出してしまいまして……」

AからFまでのクラス分けは、学年末に行われる振り分け試験で決まる。

その試験は難しいという評判だが、途中退席は0点扱いにされるという厳しいテストである。

モブ2 「そういえば、俺も熱（の問題）が出たせいでFクラスに」

モブ3 「ああ、化学だろ？ あれは難しかったな」

瑞希の言い分を聞いて、1人がそう言いだした。

それを皮切りにざわつき始め、次の言い訳が飛び交う。

モブ1 「俺は弟が事故に遭ったと聞いて、実力を出し切れなくて」

モブ4 「黙れ1人っ子」

モブ2 「前の番、彼女が寝かせてくれなくて」

モブ3 「今年一番の大嘘をありがとう」

その様子を見て、明久は一言。

「……想像以上にバカが多いな」

それを聞いて、女子はうんうんと頷いた。

瑞希「で、ではっ、今年1年よろしくお願いします！」

瑞希は逃げるように、明久と雄二の間の空いてる席に着いた。

彼女は席に着くや否や、安堵の息をついて卓袱台に突っ伏してしま

う。

その姿に光一は明久に目配せをして、あの事を聞くことにしたと意思表示。

明久「瑞希、体調は大丈夫？」

瑞希「よ、吉井君！？」

明久の顔を見て、瑞希が驚いた。

明久「瑞希？僕何かした？」

瑞希「いえ、いきなりなので少し驚いただけです。」

雄二「俺も話に入っていいか？」

そこへ雄二が話かけてきた。

瑞希「いいですよ……えつと？」

雄二「坂本だ、坂本雄二。体調の方は大丈夫か？」

瑞希「はい。おかげさまですっかりよくなりました。」

雄二「それは良かった。そういえば、俺の知人にも明久に興味がある奴が居た気がする。」

雄二のその言葉で明久は嬉しそうに、瑞希は驚いた。

明久「え？ それは……」

瑞希・美波・秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓 「それって一体誰ですか！？」

明久の声を遮るかのように、女子が声を荒げた。

それらも必死そうな表情のオマケつきで。

雄二 「とりあえず、落ち着け。姫路身体に障るぞ？ しかし、全員随分と必死だね？」

「え？ そっそれは……」

明久 「皆も色恋沙汰には結構敏感なんだ？」

瑞希・美波・秀吉・唯・漣・律・ムギ・梓 「そっその……はい。やっぱり恋をするって素敵な事だと思いますから、つい力が入ってしまっ」

明久が微笑ましそうに女子を見て居る傍らで、雄二は半ば呆れたように明久を見ていた。

明久 「ねえ雄二、話の続き聞かせてよ？」

雄二「そうだな。確か、木下……優子だったか？」

木下優子 性別（♀ / メス）

現在Aクラス所属

雄二「良かったな明久。いったい何人の女子から好意をもたれてるんだ？」

明久「雄二。教えてくれてありがとう。僕にも解らないよ。」

パンパン！

福原「はいはい。その人たち、静かに」

バキィッ！ パラパラパラ……

福原「してください……ね？」

本人としては、軽くたたいたつもりだろう。

だが、壊してしまった事は事実の為、少々気まずそうな態度に。

福原「えゝ。代えを持てきますので、皆さんは自習をしてくださいね」

明久「どれだけ酷い設備なんですか！？」

福原「これがFクラスです」

福原教諭の台詞に、何度目かの改めて設備のひどさを理解させられる面々だった。

明久「うん……ねえ雄二、ちょっと良い？」

雄二「おう。」

明久は雄二を伴い、廊下へ。

瑞希が怪訝そうな顔をして見送り、唯達に問いかけた。

瑞希「吉井君と坂本君、どうしたんでしょうか？」

唯「さあ？私は解らないよ」ナイトのこと気になるの？」

瑞希「え？　いつ、いえ、そういうわけでは……」

唯・澪・律・ムギ・梓「まさか姫路さんもナイト（旦那様）（アツキー）（明久様）（アキ様）のことを好きなの？」

瑞希「はい。私は明久くんのが大好きです。」

唯・澪・律・ムギ・梓「姫路さん絶対に負けないから。」

瑞希「私だって負けません。小学校のときから好きだったんですから。」

そんな話をしているとき明久と雄二は廊下でこんな話をしていた。

雄二「話はなんだ？」

明久「教室設備の事なんだけどね・・・」

雄二「酷いな…俺もさすがにここまでとは思わなかった」

明久 「だよ、Aクラスの設備を見た？」

雄二 「凄かったな、あんな教室見たことないな」

明久 「そこで、提案なんだけど、2年になった事だし、試召戦争をやってみない？」

雄二 「戦争だと？」

明久 「うん。Aクラス相手にね」

雄二 「姫路と、平沢達か？」

明久 「うん。皆はちゃんとした設備で受けるべきだと思う」

雄二 「…明久がやる気なら俺は反対しない。ちょうど俺もAクラス相手に戦争を仕掛けようと思っていたところだ」

雄二は初めからAクラスに戦争を仕掛けるつもりだったんだ？でもなんでだろ？

雄二 「明久、俺はな、幼馴染の誤解を解くために、Aクラスに試召戦争を仕掛ける。それが理由だ。」

明久 「そうなんだ」

雄二 「ああ、っと先生が戻ってきた。教室に入ろう明久」

明久 「うん」

雄二と僕は教室に入った。

福原 「では続きをお願いします」

先生はH Rの続き進める。

自己紹介は進んでいき、先生が「では最後にクラス代表の坂本君、お願いします。」

雄二 「了解」

坂本君は前にたち、全員を見て…

雄二 「Fクラス代表、坂本雄二だ。代表でも坂本でも好きに呼んでくれて構わない」

雄二はまたしばらく黙ってから「皆に聞きたい事がある」と言っ
てクラス全体を見回す。

雄二 「Aクラスは冷暖房完備の上、座席はリクライニングシートらしい——」

呼吸おいて、告げた。

雄二 「——不満はないか？」

Fクラス男子全員（明久と雄二を除く）「大ありじゃあつ——!!」

モブ1 「いくら学費が安いからと言って、この設備はあんまりだ！改善を要求する！」

モブ2 「そもそもAクラスだって同じ学費だろ？あまりに差が大きすぎる！」

雄二 「みんなの意見はもつともだ。そこで」

雄二 はなんか不敵な笑みを浮かべ、

雄二 「これは代表としての提案だが——」

また、一拍おいて引き金に手をかけた・・・

雄二 「——FクラスはAクラスに『試召戦争』を仕掛けようと思う」

クラス代表、坂本雄二は戦争の引き金を引いた。

第2話 試召戦争編 自己紹介（後書き）

いかがでしたでしょうか？原作と似ているような気がします。原作ブレイクしていけるように頑張っていきますので応援よろしく願います。感想や評価ポイント、作品に対するアドバイスや要望、バカテストのアイディアなどお待ちしております。感想が少ないと作者の創作意欲がなくなるのでよろしく願います。

バカテスト 第4問（前書き）

スランプです。バカテストが考えつきません。

バカテスト 第4問

問題 第四問 数学

以下の問いに答えなさい

(1) $4 \sin X + 3 \cos 3X = 2$ の方程式を満たし、かつ第一象限に存在する X の値を1つ答えなさい。

(2) $\sin(A+B)$ と等しい式を示すのは次のどれか、?
?の中から選びなさい

1 $\sin A + \cos B$ 2 $\sin A - \cos B$ 3 $\sin A \cos B$ 4 $\sin A \cos B + \cos A \sin B$

姫路瑞希・吉井明久・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

(1) $X = \pi/6$

(2) 4

教師のコメント

角度を『 $^{\circ}$ 』ではなく『 π 』で書いてありますし、正解です。

土屋康太の答え

(1) $X =$ およそ3

教師のコメント

およそをつけてごまかしたい気持ちもわかりますが、これでは回答に近くても点数はあげられません。

田井中律の答え

(2) およそ2

教師のコメント

先生は今までたくさんの生徒を見てきましたが、選択問題でおよそを着ける生徒は君が初めてです。

バカテスト 第4問（後書き）

ほぼ原作のバカテストになってしまいました。文才があればいいのに（汗）

第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？（前書き）

連続投稿はきついですね。さて今回は雄二がクラスを動かします。
ではどうぞ。

第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？

雄二「Fクラスは、Aクラスに“試験召喚戦争”を仕掛けようと思う。」

壇上に自己紹介の為立った筈の雄二の、いきなりの提案。

それに対し、クラスメイト達は当然否定的な意見の嵐を巻き起こした。

モブ1 「勝てるわけがない！」

モブ2 「これ以上設備が落とされるなんて嫌だ！」

モブ3 「姫路さんが居たら何もいらない！」

モブ4 「中野さんと結婚したい！」

モブ5 「平沢さんの手料理をが毎日食べたい！」

バカなFクラスが、学年トップのAに戦争を仕掛ける。

試召戦争は負ければ設備を1ランク落とされるのだから、更に最低になる事を考えれば自殺行為に当たるし、非難の嵐が吹き荒れるのは当然である。

後半は自分達の願望であるが、それは叶わない。

だが雄二は、その非難の嵐に怯む事もなく、代表らしい堂々とした

姿を崩す姿勢が見られない。

ある程度治まり、不敵な笑みを浮かべ口を開く。

雄二「皆がそう思うのも無理はない。だがこのクラスには、勝てる要素が揃っているからこそその提案だ。今からそれを説明してやる」

自信に満ちたその発言に、クラスはしんと静まった。

不敵な笑みを崩さないまま、雄二はある個所に視線を向けた。

雄二「おい、康太。いつまでも姫路や平沢達のスカートの中をのぞいてないで、前に出てこい。」

ムツツリーニ「……………！！（ブンブン）」

瑞希「は、はわっ！」

堂々と覗いていたにもかかわらず、必死に顔と手を振って否定し始める少年。

顔に付いた明らかな畳の痕を隠しつつ、前に出ていく。

雄二「紹介しよう。こいつがあ有名なムツツリーニだ」

ムツツリーニ「……………！！（ブンブン）」

ムツツリーニと言う名に、クラスがざわめいた。

その名は男子から畏怖と畏敬を、女子からは軽蔑を持ってあげられ

ており、その正体は謎。

……とされていた人物が、今目の前にいる。

モブ3「バカな、奴がそうだと言うのか？」

モブ1「だが見る、いまだ必死に手で押さえて隠そうとしてるぞ？」

モブ4「ああ、ムツツリの名に恥じない姿だ」

瑞希と唯だけは頭に疑問符を浮かべていた。

雄二「姫路の事は説明するまでもないだろう。皆だってその力は知ってるはずだ」

瑞希「えっ？ わっ、私ですかっ！？」

雄二「ああ、主戦力だ。期待している」

その容姿と共に知られている彼女の成績を考えれば、もっともな話である。

モブ2「そうだ、俺達には姫路さんが居るんだっ！」

モブ3「彼女なら、Aクラスにも引けを取らない」

モブ1「ああ。彼女が居れば何もいらない」

雄二「木下秀吉だっているし、俺も当然全力を尽くす。」

次に、学力ではあまり聞かない物の、優等生である双子の姉と演劇部のホープという要素で有名な人物。

そして自身もまた、代表として名乗りを上げた。

モブ2 「坂本って、神童とか呼ばれてなかったか？」

モブ3 「それじゃあ、実力はAクラスレベルが2人も居るってことかよ？ もしかしたら、やれるんじゃないか？」

モブ6 「ああ、なんかやれそうな気がしてきた！」

士気は確実に上がっていき、ほぼ全員やる気が出始めて来た。

そこへ雄二の一言

雄二「それと、吉井明久と平沢唯と秋山澪と田井中律と琴吹紬と中野梓が居るんだ。」

歓声が教室内に響いた。

モブ3 「吉井って……あの学園主席どころか教師レベルって話の！？」

モブ5 「ああ。学園から教師にならないかってスカウトが来てるって話だろ？」

モブ4 「平沢さん達はAクラスレベルの学力だからな。」

モブ1 「けど、田井中律って誰だ？ 聞いたことがないんだが？」

先ほどとは違う意味でざわめき始めた。

律 「ちよつと坂本！ どうしてそこで全く関係ない私の名前を呼ぶの！？」

雄二 「明久達の事は知っているみたいだから良いとして、田井中を知らないなら教えてやる。こいつは学年最下位だ。」

モブ2 「……それって、戦争で使えないってこと？」

誰かのその発言は、律の心に深く突き刺さった。

律 「ちつ違つよっ！ 学年最下位は坂本だよ。」

雄二 「俺は点数を調整してFクラスの代表になったんだ。田井中がいるが、ハンデにはちょうどいい。」

律 「自分から降つておいて、そのセリフはないんじゃない！？」

漚 「まあ落ち着け律。これから挽回すれば良いだろ？」

漚になだめられ、一先ずはと席に着く律。

それに構う事なく、力強く演説し、自信満々に言った。

雄二「とにかくだ！ 俺達の力の証明として、まずはDクラスを倒す。皆、この境遇は大いに不満だろう！？」

モブ達 「当然だ！」

雄二 「ならば全員筆を執れ！ 出陣の準備だ！」

モブ達 「おおーっ！！！」

雄二 「俺たちに必要なのは、卓袱台ではない！ Aクラスのシステムデスクだ！」

モブ達 「うおおーっ！！！」

美波・瑞希・唯・澪・律・ムギ・梓「お、おー……」

雰囲気を押され、瑞希達も懸命さが見て取れるように小さく拳をふりあげる。

その姿に明久が和んでる所に、雄二の一言。

雄二 「田井中には、Dクラスへの宣戦布告の為の死者になって貰う。無事大役を果たせ！」

律 「……下位勢力の宣戦布告の使者って、大抵酷い目に遭うよね？ しかも今字が違わなかった？」

雄二 「大丈夫だ、騙されたと思って行ってみろ。俺は友人を騙す事はしない」

律 「わかったよ、それなら使者は私がやる」

下位勢力との試召戦争など、面倒でしかない。

だからこそ、そんな面倒事を持ってくる奴に危害を加えない訳がな

いだろう。

結局雰囲気の流れ、律は意気揚々と出ていった。

ある程度時間がたったところで、雄二が一言。

雄二 「とまあ、ああいうバカだ。皆も危なくなったら、あいつを
囷にしてさっさと逃げるように。」

明久 「やっぱり……仕方ない。僕も行ってくる。」

雄二 「お前も物好きだな。」

明久 「雄二が酷過ぎるだけだよ。」

数分後

律 「騙されたあつ!!」

そのしばらくの後、律が教室に転がり込んできた。

Dクラスに掴みかかれ、ぼろぼろになった姿を見た雄二は一言。

雄二 「やはりそう来たか」

律 「やはりって何だよ!? 使者への暴行は予想通りだったんじゃないか! 明久が来てくれなかったら、今頃どうなってたと思ってるの!？」

雄二 「それ位予想できないで、代表が務まる訳ないだろ」

律 「少しは悪びれてよ!!」

明久 「まあ落ち着いてよ。雄二も酷すぎるよ。律に謝ってよ。」

そこへ明久が戻ってきて、律を宥めた。

律と違い無傷のその姿に、雄二は一言。

雄二 「さすが明久だな。」

雄二 「これは思わぬ収穫だな。生贄ではなく、お前を行かせるベ
きだったか?」

律 「生贄って言った!? 今生贄って言ったね!!?」

内容を考えたら、当然である。

雄二 「そんな事より、今からミーティング行つぞ?」

と言う雄二の言葉に従い、主要メンバーは屋上へ。

そして、屋上にて。

雄二 「で、田井中。時間は伝えたのか?」

律 「うん。今日の午後からって伝えといた。だから先にお昼ご飯だ
ね?」

秀吉「気になっていったんだけど、なぜDクラスなの？」

まず真つ先に、秀吉が疑念をぶつけた。

それもそのはず、段階を踏んでいくならEクラスが妥当であり、目的はAクラス。

雄二「簡単だ。明久達に問題がない今、Eクラスなら正攻法でも勝てるが、Dクラスは難しい。それに初陣だから派手にやって景気つきたいし、Aクラス攻略の為に必要な要素がDクラスにはある」

明久「成程。つまりこれは、最初のステップってわけだな？」

雄二「ああ。ここにいるメンバーは最強だ、お前達が俺を信じて協力してくれるなら勝てる！」

雄二の確信した表情による言葉に、全員が頷いた。

雄二「代表として、頼りにさせてもらうぞ。田井中以外！」

律「ひどい!!」

Dクラス VS Fクラス

今年度初の試験召喚戦争が、幕を開ける。

学園長「ほおつ、今年の2年は1学期初日から試召戦争やろうってのかい？面白いじゃないか、承認してやりな。」

高橋「承知いたしました。」

学園長 「さて、どうなるかね？ 見せて貰おうじゃ……ん？ F
クラスと言え、吉井達が居るクラスかい？」

高橋 「はい。吉井明久、坂本雄二、平沢唯、秋山澪、琴吹紬、中
野梓、姫路瑞希がいるクラスです。」

学園長 「そうかい。それはますます面白そうじゃないか……見せ
てもらおうよ。吉井。」

第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？（後書き）

けいおんから律しか出せてない。次回は唯達も必ず出しますのでご勘弁を。次回はバカテスト？かな？作者はバカテストを考えつかないのでアイディアをお待ちしています。

バカテスト 第5問（前書き）

バカテスト投稿。今日の更新はラスト？

バカテスト 第5問

問題 第五問 英語

以下の英文を訳しなさい

「This is the bookshelf that my grandmother had used regularly .
」

姫路瑞希・吉井明久・島田美波・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓
の答え

「これは私の祖母が愛用していた本棚です。」

教師のコメント

正解です。きちんと勉強していますね。

土屋康太の答え

「これは」

教師のコメント

訳せたのはThisだけですか。

田井中律の答え

「
● ♪ ☆ — — —」

教師のコメント

地球上の言語で書いてください。

木下秀吉の答え

「私が愛しているのは明久だけです。」

教師のコメント

吉井君が好きなのは解りましたが、不正解です。

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

私達ももっと積極的に行かないと…

バカテスト 第5問（後書き）

次回はDクラスVS Fクラスの予定です。感想等お待ちしております。

第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編（前書き）

戦闘シーンぐうまく書けない。どうしよう？まだBクラスやらAクラスもあるのに（汗）では本編をどうぞ。

第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編

美波 「アキ！ 木下達がDクラスの連中と渡り廊下で交戦状態に入ってたわよ！」

ポニーテールを揺らしながら駆けてきたのは同じ部隊に配属された美波。こうして改めて見ると、背は高くて細い脚も綺麗だ。

現在前線にいるのは秀吉が部隊長の前線部隊。そして僕が率いる中堅部隊。僕が部隊長だ。

西村 「さあ来い！ この負け犬が！」

Dモブ1 「鉄人！？ 嫌だ！ 誰かたす————イヤアアア！」

……よし、試験召喚戦争の雰囲気は分かった。

明久「美波、中堅部隊全員に通達」

美波 「作戦？ なんて伝えるの？」

明久 「総員突撃！」

美波 「了解。」

美波 「総員突撃よ。」

美波達が突っ込んでいく。

美春「あつ、そこにいるのはFクラス的美波お姉さま！ 五十嵐先生、こっちに来てください！」

美波「くっ！ 抜かったわ！」

遅れて追いかけると、島田さんがDクラスの一人に見つかっていた。

Fクラスでは女子は少ないし簡単に見つかっちゃうよね。

美春「お姉さま！ 逃がしません！」

美波「くっ、美春！ やるしかないってことね……！」

………なんだか、妙に緊迫してて入るタイミングを逸してしまった。

美波・美春「試獣召喚！」

二人がお互いに召喚獣を呼び出して相對する。

Fクラス 島田 美波 VS Dクラス 清水 美春

化学 53点 VS 94点

美春「お姉さまに捨てられて以来、美春はこの日を一日千秋の思いで待っていました……」

美波「ちよつと！ いい加減ウチのことは諦めてよ！。ウチにはアキがいるんだから。」

……美波、お姉さまって？

美春「嘘です！ お姉さまは美春のことを愛しているはずですよ！そして私は明久お兄様のことを愛しています。」

美波「このわからずや！」

明久「試獣召喚！」

Fクラス 吉井 明久 化学 894点

明久「ごめん。清水さん。」

Fクラス 吉井 明久 VS Dクラス 清水 美春

化学 894点 VS 0点

一撃で清水さんを戦死させた。

美春「お兄様酷いです。放課後デートして下さいね。」

明久「了解。」

美波「アキ。ウチも行くからね。」

西村「戦死者は補習！」

美春「いやあ。助けて下さい。お兄様とお姉さま。」

明久・美波「ごめん。清水さん（美春）」

こうして美春は補習室に連行された。

明久 「美波。点数を補給してくるんだ。」

美波 「分かったわ。アキ。」

美波は補給試験を受けるためFクラスへ向かった。

明久 「とにかく！ 秀吉達が補充をしている間、前線を維持するんだ！ 一步も進ませないように！」

怒号が響くなかで大声を張り上げる。

D 指揮官 「前線さえ突破すればこっちのもの！ 一気に攻め落とす！」

相手も負けずに指示を出してくる。

向こうも必死。とにかくやるしかない！！

モブ3 「吉井隊長！ モブ0がやられた！ これで布施先生側は残り二人だ！」

モブ7 「五十嵐先生側の通路だが、現在俺一人しかない！ 援軍を頼む！」

モブ6 「モブ9の召喚獣がやられそうだ！ 助けてやってくれ！」

こちらは劣勢だ！

明久 「布施先生側の人達は防御に専念！ 五十嵐先生側の人達は総合科目の人と交代！ モブ9は僕が助ける！」

「了解！」

僕の指示にしたがつて動き出す。さて僕は……

明久 「高橋先生！ Fクラス吉井明久がモブ9に代わって受けま
す！ 試験獣喚！」

Fクラス
吉井明久
VS
Dクラス
モブ1

総合科目	9756点	V S	1589点
------	-------	-----	-------

Dモブ達「何!？」

Dモブ2 「馬鹿な！？ Fクラスの奴がそんな点数を！？」

Dモブ3 「モブ2俺達も加勢するぞ。」

Dモブ2 3「試験獣喚！」

D モブ2'3 総合科目 1496点 1531点

明久 「いけええええ！」

Fクラス
吉井明久
VS
Dクラス
モブ
1
2
3

総合科目	9756点	V S	0点	0点	0点
------	-------	-----	----	----	----

一撃で3人を倒した。

僕の力を見せた！　ここで相手の指揮官を倒す！！

明久「高橋先生！　Fクラス吉井明久がDクラス指揮官に試験召喚勝負を挑みます！」

D　指揮官「ちくしょ！　試獣召喚！」

D　指揮官は悔しそうにしながらも召喚に応じた。

Fクラス吉井明久　VS　Dクラス　指揮官

総合科目　9756点　VS　1674点

D　指揮官「くそおお！！」

D　指揮官ががむしゃらに召喚獣で突っ込んできた。単純な動きなので、避ける。

すれ違い様に刀で斬る。

Fクラス　吉井明久　VS　Dクラス指揮官

総合科目　9756点　VS　0点

明久「Dクラス指揮官、吉井明久が討ち取ったり！！」

大声で勝ち名乗りをあげる。

Dモブ5 「なに!？」

Dモブ4 「馬鹿な!？」

相手は動揺して、

モブ1 「うおおー！」

モブ2 「いくぞ!!」

味方は士気をさらに上げた。

第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編（後書き）

美春と明久のフラグ成立？作者自身も驚いています。次回はバカテ
ストかな？感想等お待ちしております。

バカテスト 第6問（前書き）

感想や評価などの応援ありがとうございます。気がついたらPV
16000越えをしていて驚きました。ではバカテストスタート。

バカテスト 第6問

問題 第六問 物理

問 以下の文章の（ ）に正しい言葉を入れなさい。

光は波であつて、（ ）である。

姫路瑞希・吉井明久・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

粒子

教師のコメント

正解です。皆さんには簡単でしたね。

土屋康太の答え

寄せては返すの

教師のコメント

君の解答はいつも先生の度肝を抜きます。

田井中律の答え

勇者の武器

教師のコメント

先生もRPGは好きです。

島田美波の答え

ウチの大好きなアキの笑顔を連想させるもの。

教師のコメント

問題の答えとしては不正解ですが、吉井君のことを女たらしと思えるようになりました。

木下秀吉の答え

明久を愛したいと思う気持ち

教師のコメント

問題の答えとしては不正解ですが、吉井君はいつたいどれだけの女性に好かれているのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

私達はどうすればいいの？神様教えて下さい！！！！！！！！

バカテスト 第6問（後書き）

皆さんに質問ですが、Dクラス戦が終わった後、美春&美波のデトは書いた方がいいのでしょうか？感想に書いて頂けるとうれしいです。期限は明日の正午までとさせていただきます。

第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編（前書き）

すいません。今回はかなり短いです。そのかわり、美波&美春のデートを頑張りますので、勘弁して下さい。

第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編

指揮官を失ったことに動揺し、Dクラスの攻撃は弱くなった。

僕が一気に四人も補習室送りにしたのを警戒しているようだ。

ここで一気に敵を全滅させる。

明久 「高橋先生。Fクラス吉井明久がそこにいるDクラスの生徒に日本史で挑みます。試験召喚！」

Fクラス 吉井 明久 日本史 1092点

Dモブ達 「何ー！！1000点越えだど！？俺達が勝てるわけない。仕方ない試験召喚！」

Dモブ達 日本史 1874点 (18人)

明久 「腕輪発動！ベクトル操作。相手を300秒動けなくする。」

Dモブ達 「何だと！？勝てるわけがない！？」

明久 「さようなら。」

Fクラス 吉井 明久 日本史 1042点 VS Dモブ 日本史 0点×18

一撃で相手全員を戦死させた。

明久 「このままDクラス代表倒すぞ！」

モブ達「了解。吉井隊長。」

一気に廊下を走りぬけDクラスの教室まで来た。

明久 「Fクラス吉井明久です。 Dクラス平賀君に現代国語勝負を挑みます！」

「！？ ちつ、けどお前じゃ俺は倒せない。」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス 平賀源二

現代国語 851点 VS 130点

平賀 「なにい！？」

驚いている平賀君。 前線部隊から僕について報告を受けていないのかな？

驚いている隙に接近して刀で斬る。

一撃で平賀君は倒し、Fクラスの勝利が確定した。

第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編（後書き）

明久の腕輪が最強すぎですね。ベクトル操作はあのアニメから持ってきました。

美波&美春のデートは読みたいという意見が多数なので書くことにします。今から考えますので少々お待ち下さい。感想等お待ちしております。

バカテスト 第7問（前書き）

バカテスト更新。しかし明久はハーレムだよなあ。作者も書いていて羨ましすぎるよ。

バカテスト 第7問

問題 第七問 生物

以下の問いに答えなさい

「人が生きていく上で必要となる5大栄養素をすべて書きなさい。」

姫路瑞希・吉井明久の答え

「1 脂質 2 炭水化物 3 たんぱく質 4 ビタミン 5 ミネラル」

教師のコメント

正解です。特にコメントはありません。

土屋康太の答え

「初潮年齢が十歳未満の時は早発月経という。また、十五歳になっても初潮がない時を遅発月経、更に十八歳になっても所長がない時を原発性無月経といい……」

教師のコメント

保健体育のテストは前に終わりました。

平沢唯の答え

「 1 ナイト 2 ナイトの愛 3 ナイトの手料理 4 ナイトとのH 5 ナイトとの子供」

秋山零の答え

「 1 旦那様 2 旦那様の愛 3 旦那様の手料理 4 旦那様との営み 5 旦那様との子供」

田井中律の答え

「 1 アッキー 2 アッキーの愛 3 アッキーの手料理 4 アッキーとの夜の営み 5 アッキーとの子供」

琴吹紬の答え

「 1 明久様 2 明久様の愛 3 明久様の手料理 4 明久様とのS。X 5 明久様との子供」

中野梓の答え

「 1 アキ様 2 アキ様の愛 3 アキ様の手料理 4 アキ様との交わり 5 アキ様との子供」

教師のコメント

吉井君。あなたの内申点は0点にしておきます。

木下秀吉の答え

「 1 明久 2 明久の愛 3 明久のパエリア 4 明久との

甘い新婚生活 5 明久との結婚式」

教師のコメント

吉井君。あなたはいったいどれだけの女性を惚れさせているのでしょうか？

吉井明久のコメント

分かりません。すみません。

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

それだけ魅力的なのは良いけど、私達のことを考えてよ（泣）

バカテスト 第7問（後書き）

次回の更新は未定です。何故なら美春と美波のデートが書きあがっていないから。感想等お待ちしています。

第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後（前書き）

皆様、お待たせしました。美波と美春のデートを書いたので投稿します。皆様の反応が正直不安です。ではどうぞ。

第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後

Dクラス代表 平賀源二 戦死

モブ達 「やったー！！！！！！！！！！」

Dモブ達 「いやああああー」

その知らせを聞いたFクラスの歓声とDクラスの悲鳴が混じり、大音響が校舎内を響いた。

モブ1 「凄えよ！ 本当にDクラスに勝てるなんて！」

モブ4 「これで畳や卓袱台ともおさらばだな！」

モブ7 「ああ。あの設備はDクラスの連中の物になるからな。」

モブ2 「坂本雄二サマサマだな！」

モブ8 「やっぱり代表は凄い奴だったんだな！」

モブ9 「坂本万歳！」

モブ5 「吉井万歳！」

モブ10 「姫路さん、愛しています！」

モブ3 「平沢さん結婚して下さい！」

代表である雄二を褒め称える声があったところから聞こえてくる。
最後の結婚してくださいはいはなんで？

雄二「ああ、まあ。 何だ。 手放して褒められると、なんつーか」

頬をポリポリと掻きながら明後日の方向を見る雄二。

モブ1 「坂本！ 握手してくれ！」

モブ2 「俺も！」

皆にとって雄二君は英雄だね。 この光景を見るだけでどれだけ皆が、教室に不満を持っていたのが分かる。

明久 「雄二！」

雄二 「明久」

明久 「おめでとう雄二」

雄二 「ありがとう。 明久のおかげで思ったより早く決着がついたし、平沢達を使わずにすんだ。」

平賀 「まさか吉井君がFクラスでこれほどの実力だなんて・・・
・・・信じられん」

明久 「ごめん。 平賀君」

平賀 「いや、謝る事はない。 全てはFクラスを甘く見ていた俺達が悪いんだ。」

平賀 「ルールに則ってクラスを明け渡そう。ただ、今日はこんな時間だから、作業は明日で良いか？」

明久 「その必要はないよね？雄二？」

雄二 「ああ。その必要はない。」

モブ達 「え？ 何で？」

雄二 「Dクラスを奪う気はないからだ。」

モブ達 「坂本、それはどういうことだ？ 折角、普通の設備を手に入れることができるのに」

雄二 「忘れたのか？ 俺達の目標はあくまでもAクラスのはずだろっ？」

律 「何で最初からAクラスにしないの？。おかしいよ。」

雄二 「少しは自分で考えろ。そんなんだから、田井中は近所の中学生に『バカなお姉ちゃん』なんて愛称をつけられるんだ。」

律 「坂本。そんな半端にリアルな嘘をつかないでよ！」

雄二 「おつとすまない。近所の小学生だったか。」

律 「人違いです。」

雄二 「本当に言われたことがあるのか？」

冗談のつもりで言ったのという顔をする。雄二。

雄二 「と、とにかくだな。Dクラスの設備には一切手をだすつもりはない。」

平賀 「それは俺達にはありがたいが………それで良いのか？」

雄二 「もちろん、条件がある。」

平賀 「一応、聞かせてもらおうか」

雄二 「そんな大したことじゃない。Dクラスには3ヶ月間Fクラスの駒になって貰うだけだ。」

平賀 「それだけでいいのか？」

雄二 「そう悪い取引じゃないだろう？」

それだけで三ヶ月のものの期間をあの教室で過ごすという状態から逃げられる。決して悪い取引ではないね。

平賀 「それはこちらとしては願ってもない提案だが、何故、そんなことを？」

平賀君の疑問はもつともだ。

雄二 「これからの戦争に必要なんでな。」

平賀 「そうか。 では、こちらはありがたくその提案を吞ませて
もらおう。」

雄二 「今日はもう行っていていいぞ。」

平賀 「ああ。 ありがとう。 お前らがAクラスに勝てるよう願っているよ。」

雄二 「ははっ。 無理するなよ。 勝てっこないと思っているだろ？」

平賀 「それはそうだ。 AクラスにFクラスが勝てるわけがない。
社交辞令だな」

じゃあ、と手を挙げてDクラス代表、平賀君は去っていった。

雄二 「さて、皆！ 今日のご苦労だった！ 明日は消費した点数
の補給を行うから、今日のところは帰ってゆっくりと休んでくれ！
解散！」

平賀君が去った後、雄二がこちらを向いて号令をかけると、皆は雑
談を交えながら自分のクラスへと向かっていった。

美春 「お兄様にお姉さま。 約束しましたどつりにデートに行きま
しょう。」

明久 「分かったよ。 美波に清水さん。」

美春 「お兄様。 美春と呼んで下さい。」

明久 「み・美春。 これでいい？」

美春 「はい」

美波 「美春にアキ。ウチのこと忘れてない？」

明久・美春 「そんなことはない（ありませんわ）」

明久 「何処に行く？」

秀吉 「待つて。明久！どうして私もデートに連れってくれないの？」

明久 「だつて。約束してなかったし・・・」

秀吉 「酷いよ。私も行きたいな（涙目＋上目遣い）」

美波 「駄目よ。木下。ウチとアキと美春でデートするんだから」

律 「ちよつと待つた！いつの間にそんな約束したんだ。私だつて行きたい！」

澪 「私だつて旦那様とデートしたい。」

唯 「ナイトとデートしたい」

梓 「アキ様とデート行きたいです。」

ムギ 「婚約者である私と明久様はデートをするのは当然です。」

秀吉・美波・美春・唯・澪・律・梓・瑞希 「誰が婚約者ですか！

？（怒）」

瑞希 「私だって明久君とデートしたいです。」

女子が自分を巡って争いを始めたのを見た明久は困惑気味になっていて何かを考え始めた。

明久 「今日は美波と美春と出かけるからごめんね。」

秀吉・唯・漑・律・ムギ・梓・瑞希 「そんなあゝ酷いです。」

明久 「そのかわり皆とは今度出かけるから、ね。」

秀吉・唯・漑・律・ムギ・梓・瑞希 「分かりました。約束ですよ。」

明久 「じゃあ、行こうか。美波。美春。」

美春・美波 「はい。お兄様。（了解、アキ。）」

明久 「皆また明日。」

秀吉・唯・漑・律・ムギ・梓・瑞希 「また明日ね」

こうして皆と別れた明久達は学校から帰宅する。

明久 「二人とも何処行きたい？」

美波 「映画なんてどう？」

明久 「僕はいいけど、美春はどう？」

美春 「私も良いと思います。」

美波 「映画館に行くわよ。」

美波がそう言つて、腕を組んできた。

美春 「じゃあ、反対側は私が組みます。」

美春も反対側の腕を取り組んだ。

明久 「ねえ、二人とも。腕に柔らかい物が当たってるんだけど。」

美波 「アキのエッチ（上目使い）」

美春 「当ててるんです。お兄様（顔真っ赤）」

明久 「グハ。ダメージが大きい。まあ早く行こう。」

二人とも僕の理性を壊す気なの？

そんなこんなで映画館に到着した三人。

明久 「何の映画にするの？」

美春 「この映画はどうですか？」

そういつて恋愛映画をのポスターを指していた。

美波 「いいんじゃない。アキはどう？」

明久 「いいんじゃない。チケット買ってくるよ。」

美春 「お兄様。自分の分くらい払いますよ。」

明久 「せっかくのデートなんだからそのぐらい払わせてよ。じゃあ行こうか」

明久 「すみません。学生三枚お願いします。」

受付 「学生証はお持ちですか？」

明久 「二人とも学生証ある？」

美春 「はい。お兄様。」

美波 「はい。アキ。」

二人は明久に学生証を渡した。

明久 「これでいいですか。」

受付 「はい。大丈夫です。。。。円になります。」

明久 「これでお願いします。」

受付 「。。。円ちょうどお預かりします。ではこちらがチケットです。ありがとうございました。」

明久 「じゃあ行こうか。美波。美春」

美春・美波 「行きましょう。」

映画が終了した後の3人は…

美波 「今日はありがとね。アキ」

美春 「今日はありがとうございました。お兄様。」

明久 「喜んで貰えて良かったよ。」

美波・美春 「目を閉じてアキ（目を閉じてください。お兄様）」

明久 「ええ！？何で！？」

美波・美春 「いいから、早くして。」

明久 「了解」

明久が目を閉じたのを確認して、美春と美波は明久にキスをした。

明久 「二人とも何をしたの！？」

美波・美春 「今日のお礼よ（です）」

明久は顔を真っ赤にしまった。

気まずい空気になってきた。

美波・美春 「アキ（お兄様）明日学校でね」

二人は満足そうに明久に別れを告げて帰っていった。

一方明久は…

明久 「美春に美波明日からどう接すればいいのかわからないよ（汗）」

顔を真っ赤のままそのようなことを考えていた。

こうして明久と美波＆美春のデートは終わった。

第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後（後書き）

いかがでしたでしょうか。作者は不安ですが喜んで頂ければ幸いです。次はバカテストの予定です。感想等お待ちしています。

バカテスト 第8問（前書き）

バカテストがスランプです。アイディアが考えられなくなっています。
ではバカテストスタート。

バカテスト 第8問

問題 第8問 英語

問題 以下の問いに答えなさい。

「goodおよびbadの比較級と最上級をそれぞれ書きなさい。」

姫路瑞希・吉井明久・島田美波・平沢唯。秋山澪・琴吹紬・中野梓
の答え

「good? better? best」

「bad? worse? worst」

教師のコメント

正解です。この調子で頑張ってください。

田井中律の答え

「good? gooder? goodest」

「bad? bader? badest」

教師のコメント

まともな間違え方で先生驚いています。Goodやbadの比較級と最上級は語尾に-erや-estを付けるだけではダメです。覚

えておきましょう。

土屋康太の答え

「b a d ? b u t t e r ? b u s t」

教師のコメント

『悪い』『乳製品』『おっぱい』

木下秀吉の答え

「明久に英語を教えて貰ってラブラブになる。」

教師のコメント

英語関係ないじゃないですか。吉井君指導の方頑張ってください。

バカテスト 第8問（後書き）

次回はBクラスの前の作戦会議かな。いつ更新かは未定です。感想やバカテストのアイデアお待ちしています。

第7話 試召戦争編 作戦会議（前書き）

今回は宣戦布告まで書きました。最近書くスピードが遅くなってる
ような気がします。

第7話 試召戦争編 作戦会議

現在補充テストが終わった。

明久 「終わったー。」

机に突っ伏す。

とりあえず全教科の補充が完了。 流石に全教科受けると疲れるよ。

秀吉 「うむ、疲れたわね。」

そう言つて秀吉が答える。

今日の髪形はポニーテールだ。 うう。 僕のストライクゾーンを
いてくるなんて…… 秀吉は美少女なのに……。

ムツツリーニ 「……………（コクコク）」

いつの間にかムツツリーニもいた。

雄二 「よし、昼飯を食いに行くぞ！ 今日ラーメンとカツ丼と
炒飯とカレーにつすかな」

明久 「雄二。 僕はそのメニューの量の多さを指摘するのか、炭水
化物ばかりなのかを指摘すればいいのか分からないよ。」

勢いよく立ち上がる雄二。 全然疲れを感じていないようだ。 ど
こかおかしい。 昼食のメニューも含めて。

美波 「ん？ アキ達は食堂に行くの？アキにお弁当作ってきたんだけどよかったらどう？」

明久 「ぜひご馳走になります。」

ムツツリーニ 「……………（コクコク）」

ムツツリーニが頷いているのは下心のせいだろう。 美波はモデルみたいな感じだからなあ。

美波 「アキ、なんかウチ褒められた感じがするんだけど？」

明久 「気のせいじゃない？」

女の勘は恐ろしい。

今は昼休みだ。

瑞希 「あ、あの。 皆さん……………」

雄二 「どうした姫路？お前も来るのか？」

瑞希 「あ、いえ。 実はお昼なんですけど明久くんと皆さんの分も作ってきたので一緒にいかがかと……………」

明久 「お弁当？」

瑞希 「はい。 迷惑じゃなかったらどうぞ。」

と、バッグを差し出す姫路さん。なんていい子なんだ！

明久 「迷惑なわけないよ。ねえ雄二。」

雄二 「ぜひご馳走になろう。」

唯・澪・律・ムギ・梓 「私達もナイト（旦那様）（アッキー）（明久様）（アキ様）にお弁当作ってきたから一緒に食べましょう」

秀吉 「私も明久のためにお弁当作ってきたから食べて（上目使い）」

明久 「僕一人じゃ食べきれないから皆で食べよう。」

雄二 「じゃ屋上でいいか？次の試召戦争の相談もあるからな。」

こうして屋上へ向かった。

明久 「皆のお弁当美味しそうだね雄二。」

雄二 「そうだな。明久。しかも全員明久のために作ってくれたんだからな。」

ムツツリー二 「殺したいほど妬ましい。」

明久 「まあまあ落ち着いてよ。ムツツリー二。」

雄二 「そうだぞ。明久は主戦力なんだから困る。やるなら田井中にしておけ。」

律 「ちよつと待つて。坂本。私ならいいの？」

雄二 「ああ。田井中ならいてもいなくても変わらないからな。」

律 「止めるな漣。私は坂本を殴らないと気がすまない。」

漣 「落ち着け律。坂本なら冗談で言っているだけだ。」

律 「なんだ。ならいいか。」

明久 「律の玉子焼き美味しいね。」

律 「やった。アッキーに褒められた。」

雄二 「そうだな。田井中は馬鹿だが、料理は旨いな。」

律 「ちよつと坂本！酷くない！？」

雄二 「人間何か取り柄があるもんだ。」

明久 「二人とも落ち着いて。せつかくのお昼なんだから。」

雄二 「そうだな。明久。」

明久 「唯の酢豚も美味しいね。」

雄二 「確かに。旨いな。」

唯 「ナイトに美味しいって言われた。」

明久 「皆良いお嫁さんになれるよ。こんなに料理が美味しいんだから。」

瑞希・美波・秀吉・唯・漑・律・ムギ・梓 「だったら私をお嫁さんにして下さい。」

雄二 「良かったな。明久。お嫁さんがこんなにいて。羨ましいぞ。」

明久 「そうだね。皆僕には勿体無いくらいの美人ばかりで料理も美味しいし。」

雄二 「おい明久。皆顔を真っ赤にして固まってるぞ。」

明久 「わあごめん。皆こっちに帰ってきて。」

そんなこんなで昼食が終わった後。

美波 「坂本。次の試召戦争なんだけど。次は何処なの？」

雄二 「次はBクラスだ。」

秀吉 「何故Bクラスなの？」

雄二 「Fクラスの戦力じゃAクラスに勝てないからだ。」

唯 「最終目標はBクラスに変更なの？」

雄二 「そんなことはない。Aクラスをやる。」

律 「坂本言ってることが矛盾してるわよ。」

雄二 「クラス単位では勝てないから一騎打ちにするつもりだ。そのためにBクラスを使う。」

雄二 「とりあえず一騎打ちに関してはまたAクラス戦の時に話すとして、Bクラスをやる。」

雄二 「田井中下位クラスが負けたらどうなるか知ってるか？」

律 「知ってるよ。え〜っと…」

明久 「設備を1ランク落とされるんだよ。AクラスならBクラスレベルといった具合に。」

雄二 「ちつ。その通りだ。なら上位クラスが負けた場合は？」

律 「悔しい。」

雄二 「ムツツリーニ、ペンチをくれ。」

ムツツリーニ 「了解。」

律 「ペンチで私に何をする気なの？」

明久 「待つんだ。二人とも。冷静になるんだ。」

漣 「設備が入れ替わるんだよ。律。」

雄二 「Bクラスをやったら、設備の入れ替えに代わりにAクラ

スに攻め込むよう交渉する。設備を入れ替えたならFクラスだが、Aクラスに負けるだけならCクラス設備で済むからな。まずうまく。」

律 「それでどうするの？」

雄二 「それをネタにAクラスと交渉する。『Bクラスとの勝負直後に攻め込むぞ』といった具合にな」

律 「なるほど！」

明久 「しかしAクラスは一騎打ちを受けてくれるの？こっちは僕に姫路さんに唯達がいるのに」

雄二 「その点は大丈夫だ。考えがあるからな。とにかくBクラスをやる。そのあとに細かいことは話すからな。」

雄二 「田井中。宣戦布告に行つて来い。」

律 「断る。坂本が行けばいいじゃないか。」

明久 「雄二。僕が行くよ。Fクラスにいるのはばれてるだろうし。」

雄二 「分かった。それなら明久に任せろ。」

明久 「じゃあ行つて来る。」

こうして明久はBクラスへ向かった。

明久がBクラスから帰って来た。

明久 「ただいま雄二。今日の午後開戦と伝えて来たよ。」

雄二 「ご苦労だったな。明久。しかし殴られなかったか？」

明久 「返り討ちにしたよ。全力の回し蹴りしたらその人機を捲き込みながら、倒れたのを見て話を聞いてくれたよ。」

この場にいる全員が恐怖を覚えた。

こうしてBクラス VS Fクラスの戦いが始まる。

第7話 試召戦争編 作戦会議（後書き）

次回はバカテスト？かな。でもバカテストが浮かばないので分かりません。

感想等お待ちしております。

バカテスト 第9問（前書き）

気がついたらPV 30000越えでしたしユニーク4500越え
でした。これからも頑張ってくださいのようしく願います。

バカテスト 第9問

問題 第九問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたの夢は何ですか？

吉井明久の答え

「悲しむ人のいない世界を作ること。」

教師のコメント

吉井君らしい答えですね。難しいとは思いますが、吉井君なら出来るような気がします。

霧島翔子の答え

「雄二のお嫁さん。」

教師のコメント

霧島さんは坂本君が好きなんですね。先生は応援してます。

木下秀吉・島田美波・姫路瑞希・清水美春・平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓の答え

「吉井明久の妻」

教師のコメント

吉井君後で職員室に来るように。きっちり生徒指導しますから。決して羨ましいからではありません。

土屋康太の答え

「プシャアアアア」(血液の痕)

教師のコメント

君は何を想像したのですか。

バカテスト 第9問（後書き）

次回はBクラス戦ですね。いつ投稿できるかは未定です。感想等お待ちしています。

第8話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 前編（前書き）

今回はやってしまった感が強いです。この意味は小説を読んでもらえれば解ると思います。では本編をどうぞ。

第8話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 前編

雄二 「皆全科目のテストご苦労だった。」

教壇に立ち雄二が机に手をつけてFクラスの皆を向いて言う。

さつき全科目のテストが終わり、昼食を取った所である。

雄二 「午後はBクラスとの試召戦争だが、気合は充分か？」

モブ達 「おう！」

モチベーションは維持したまま。点数が低いFクラスの唯一の利点だね。

雄二 「今回の戦闘は長引かせればこちらが不利になる。開戦直後は絶対に負けるわけにはいかない。」

モブ達 「おう！」

雄二 「そこで部隊には姫路と明久と平沢と秋山と琴吹と中野のFクラス主戦力を投入し、今日中にBクラスと決着をつけたいと思ってる。」

瑞希 「頑張ります。」

明久 「了解。」

唯 「まかせてよ。」

漣 「頑張る。」

ムギ 「任せてちょうだい。」

梓 「わかりました。」

女子と一緒に戦えるだけに皆の士気はMAXだ。

今回の廊下の戦闘は絶対に勝ちに行くらしく戦力は僕たちAクラス
並だけでなくFクラスの大半をつぎ込むようだ。

キンコーンカーンコーン

昼休み終了の合図が鳴り、Bクラス戦が始まった。

雄二 「よし、行って来い！目指すはAクラスの設備だ！」

モブ達 「了解だ！」

この戦いで重要なのは敵を蹴散らすことだ。明久達は全力でBクラスへと向かう廊下を駆け出した。

今回のFクラスの主力は理数系の科目だ。Bクラスは文系が多いことと数学の長谷川先生の召喚範囲が広いことからだ。物理の。○先生もいる。

モブ1 「いたぞ、Bクラスだ！」

モブ4 「高橋先生を連れているぞ！」

正面からBクラスのメンバーがくる。人数が20人程度と言うところを見ると僕を警戒しているようだ。

モブ8 「生かして帰すなー！」

物騒なセリフが聞こえたが、試召戦争が始まった。

Bクラス モブ1 VS Fクラス モブ13

総合科目 1943点 VS 746点

Bクラス モブ4 VS Fクラス モブ2

数学 156点 VS 71点

Bクラスモブ5 VS Fクラス モブ8

物理145点 VS 72点

。FクラスとBクラスでは圧倒的な差があるから次々と戦士していく。

明久 「皆いくよ。」

瑞希・唯・漣・ムギ・梓「うん。」

明久・瑞希・唯・漣・ムギ・梓「試獣召喚。」

明久達は召喚する。

Fクラス吉井明久&中野梓&平沢唯

総合 9801点&4801点&2065点

Fクラス秋山澪&琴吹紬

物理 455点&412点

Fクラス 姫路瑞希

数学 555点

Bモブ4 「なんなんだ吉井の点数!？」

Bモブ1 「本当にFクラスなのか!？」

Bモブ3 「皆総合科目の方に来てくれ。」

Bモブ達 「了解」

皆の点数にBクラスが動揺する。

明久 「腕輪発動」

Bモブ達 「召喚獣が動かない。」

明久 「今のうちに倒すよ。唯、梓。」

唯 「うん。ナイトやるね。」

梓 「分かりました。アキ様。」

総合科目内の敵12人を3人で一撃で倒した。

Bモブ0 「おい。総合科目のやつら全員戦死してるぞ。」

Bモブ9 「俺達で勝てるのか？」

相手は戦意喪失したようだ。

瑞希 「行きます。熱戦。」

岩下 「真由美避けて。」

菊入 「そんなこと言っても無理。」

二人の召喚獣が炎に包まれて戦死したようだ。

漣達も戦死させたようだ。

明久 「このまま代表を倒すよ。皆いい？」

根本 「待ってくれ。吉井」

明久 「根本君！？何を待てるんだい？」

根本 「Bクラスは降伏する。」

Bモブ達 「何を言ってるんだ！？代表。」

根本 「正直にいつてBクラスはこのままでは負ける。お前達を戦死させるわけには行かないんだ。代表としてクラスメイト達に不利益があつてはならない。解つてくれ。」

明久 「解つた。皆攻撃をやめるんだ。先生戦争終結の合図をお願いします。」

教師 「戦争終結。勝者Fクラス」

こうしてBクラスとの戦争は終わった。

第8話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 前編（後書き）

いかがでしたでしょうか？根本が原作と違い良いやつになってしまいました。皆様の反応が怖いです。次回は未定です。

バカテスト 第10問（前書き）

スランプです。アイデアがまったく出てこない。どうしましょう。やって欲しいイベントなどがありましたら感想又はメッセージ送信でお知らせ下さい。できるだけ要望はお聞きます。ではバカテストどうぞ。

バカテスト 第10問

問題 第十問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたの知りたいことは何ですか？

霧島翔子の答え

「雄二の好みのタイプ」

教師のコメント

霧島さんと坂本君は幼馴染ですね。坂本君を先生は羨ましいと思います。

木下秀吉・島田美波・姫路瑞希・清水美春・平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓の答え

「吉井明久の好みのタイプ」

教師のコメント

吉井君。世の中は不公平ですね（泣）

坂本雄二の答え

「幼馴染の誤解を解く方法」

教師のコメント

坂本君。先生は誤解ではないと思いますよ。

バカテスト 第10問（後書き）

明久の答えが思いつきませんでした。次回はBクラスの戦後対談を書きたいと思いますが、いつ更新かは未定です。

第9話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 後編（前書き）

だいぶ遅くなってしまいましたが、書きあげましたので投稿します。

第9話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 後編

雄二「それじゃ戦後対談を始めるか。Bクラス代表？」

根本「設備を交換するんだろ？」

雄二「本当なら俺達はBクラス設備を、お前らにはFクラスの設備にする所だが、条件次第では設備交換はしなくてもいい。」

雄二の発言で、Bクラス、Fクラスの生徒が騒ぎだした。

雄二「落ち着け皆。俺達の目標はAクラスだ。ここで終わりじゃない。」

明久「あくまで途中でしかないということだよ。ね？雄二」

雄二「ああ。だから、Bクラスが条件を呑めば免除してやろうと思う。」

明久の説明もあり、Fクラスのメンバーは雄二の性格を理解し、納得した。

Bクラスも3ヶ月間Fクラスのボロボロの設備から回避できるかもしれないと、雄二に視線が集まる。

根本「……条件はなんだ？」

雄二「条件？それはお前だよ、Bクラス代表。」

根本 「俺？」

雄二 「取引だ。Aクラスに行つて、戦争の意思と準備があるとだけ伝えるんだ」

根本 「……それだけでいいのか？」

雄二 「ああそれだけでいい。それさえしてくれば設備については見逃そう。」

根本 「他はなんだ？」

雄二 「3ヶ月間Fクラスの駒になつてもらふ。無茶な要求はしないつもりだ。嫌なら設備交換だ。この条件を飲むなら和平交渉で終結にする。さあ選んでくれ。」

雄二の言葉に根本君は真剣な表情で考えているようだ。

根本 「分かった。その条件を飲もう。坂本。Bクラスの皆も良いかな？」

Bモブ達 「おう。」

こうしてBクラス戦は終了した。

雄二 「来週Aクラスに宣戦布告する。土日はしっかり休んでくれ。以上解散。」

こうしてFクラスの人たちは帰りだした。（一部を除いて）

唯 「じゃあナイトデートしに行こうか。」

漣・律・ムギ・梓・秀吉・瑞希・美波 「ちょっと待った。」

唯 「何？」

漣・律・ムギ・梓・秀吉・瑞希・美波 「何で唯（唯ちゃん）（平沢さん）（平沢）だけデートするの！？」

唯 「この間約束したからだよ。みなみんはデートしたでしょ。だから私の番だよ。」

漣・律・ムギ・梓・秀吉・瑞希 「確かに。でも唯（唯ちゃん）（平沢さん）の番ってわけじゃないでしょう。」

唯 「それじゃあナイトに決めてもらおう。」

明久 「僕！？その前に僕は今日出かけるなんて一言も言ってないよ！？」

唯 「早く決めてよ。ナイト」

作者 「唯と梓でデートをしろ。」

明久 「なんか作者の声が聞こえた気がするなあ。じゃあ平沢さんと中野さんで。」

唯・梓 「やったー。」

漣・律・ムギ・秀吉・瑞希 「そんなあゝ（泣）」

明久 「また別の機会に一緒に行くから。ね？」

漣・律・ムギ・秀吉・瑞希 「分かりました。」

明久 「じゃあ来週学校で。行くよ。唯に梓。」

唯 「今行くよ。」

梓 「はいです。」

こうして明久達はデートに向かった。

明久 「何処に行く？」

唯 「パフェが食べたいなあ。」

梓 「それなら駅前のラ・ペデイスにしませんか。学生に人気がありますよ。」

唯 「早く行こうよナイト、あずにゃん。」

こうして明久達はラ・ペデイスに向かった。あの人の家とは知らずに。

店員 「いらっしやいませ。何名様ですか？」

明久 「3人です。」

店員 「ではこちらの席になります。ご注文がきまりましたらお呼

び下さい。」

明久 「2人は何にする？」

唯 「私はイチゴパフェと紅茶にする。」

梓 「バナナパフェと紅茶にするです。」

明久 「すみません。注文いいですか。」

店員？ 「はい。今行きますわ。」

店員？ 「ご注文お決まりで…お兄様！？」

明久 「美春何でここにいるの！？」

美春 「ここは美春の家ですわ。お兄様デートするなどは言いませ
んが、美春も誘って下さいよ！？」

明久 「この間誘ったからいいかなあと思って。」

美春 「お兄様とだったら毎日デートしたいんですよ皆。」

明久 「ごめんごめん。今度から気をつけるよ。注文良い？」

美春 「良いですよ。お兄様会計は私が持ちますから私もここで一
緒に食べます。」

明久 「それじゃ悪いよ。美春。」

美春 「良いんです。お兄様には映画代を出して頂きましたから。注文をどうぞ。」

明久 「バナナパフェ1つといちごパフェ1つとチョコパフェ1つと紅茶2つとコーヒーを1つでお願いします。」

美春 「分かりましたわ。少々お待ちを。」

唯 「ねえあずにゃん。今更だけどナイトの人気はすごいね。」

梓 「そうですね。私達も頑張らないと。」

二人が小声で話しているようだ。

明久 「何話してるの？2人で。」

唯・梓 「何でもありません。」

美春 「お待ちどうさまですわ。さあ皆で食べましょう。」

明久・美春・唯・梓 「いただきます。」

美春 「お兄様、あーん。」

明久 「ちよつと美春！？それは恥ずかしいよ。」

美春 「良いんです。美春とお兄様は愛し合っているんですから。」

唯・梓 「ちよつと待った！！私達もやる（やります）。」

明久 「ちよつと待つてよ！？それはそれで大変なことなんだよ。」

美春・唯・梓 「あーん」

明久 「ちよつと恥ずかしいよ」

美春・唯・梓 「いいから食べて下さい。」

明久 「うん。」

顔を真つ赤にして明久は食べた。

そんなこんなで時間が過ぎていった。

明久 「じゃ来週学校でね。」

美春・唯・梓 「さようなら。」

こうして明久が美春達と別れて家に帰ろうとしたらある光景が目に入った。

不良 「おい俺と付き合えよお姉ちゃん。」

??? 「いいえ。家に帰らないと。」

不良 「そんなこといいから付き合えよ。」

不良が女の子を連れ去ろうとするが…

明久 「おい。やめろよ。女の子が嫌がつてるじゃないか。」

不良 「うつせえな。痛い目に…」

バツキと言う音が響いた。明久が電柱に穴を貫通させた音である。それを見た不良は…

不良 「すいませんでしたー。」

物凄いダッシュで不良が逃げ去っていった。

明久 「大丈夫？」

愛子 「ありがとうございます。その制服は文月学園のですね。」

明久 「僕の名前は吉井明久。」

愛子 「僕の名前は工藤愛子です。よろしくね。」

明久 「じゃ工藤さん気をつけて帰ってね。さようなら。」

こうして明久と別れた愛子は…

愛子 「吉井明久くんかぁ…なんだか好きになっちゃったよ。」

明久は知らない。1人の女の子を惚れさせてしまったことを…

第9話 試召戦争編 Bクラス VS Fクラス 後編（後書き）

いかがでしたでしょうか。愛子とのフラグというリクエストがあったので書いてみましたが、正直不安です。感想等お待ちしております。

バカテスト 第11問（前書き）

バカテスト更新。 だけどスランプは未だに続いているみたいで…

バカテスト 第11問

問題 第十一問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたは大好きな彼とふたりきりの旅行の時、忘れ物に気づきました。

さて、あなたは何を忘れたのでしょうか？

姫路瑞希の答え

「頭痛薬や胃薬などの医薬品」

教師のコメント

これは、あなたが何を求めているかのテストです。

姫路さんは安らぎを求めているようですね。

霧島翔子の答え

「雄二との婚姻届」

教師のコメント

忘れ物の前に持って行くこうとする時点で間違っています。

工藤愛子の答え

「下着を穿いていくこと」

教師のコメント

あなたは好きな人に何を求めているのですか。

琴吹紬の答え

「コンドーム」

教師のコメント

まさか工藤さんみたいな答えを書く人がまだいたとは…

木下秀吉の答え

「手作りのお弁当」

教師のコメント

普通な答えで先生は安心しました。

木下優子の答え

「セクシーな下着」

教師のコメント

木下さんどうしたのですか！？あの優等生な木下さんから想像できない答えです（汗）

バカテスト 第11問（後書き）

次回はAクラスとの交渉かな？書きあがってないから分かりません。

第10話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 交渉編（前書き）

今回は意外と書けました。バカテストの問題がない…誰か問題を下さい。

第10話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 交渉編

Aクラスに試験召喚戦争を仕掛ける時が来た。

雄二 「まずは全員に礼を言いたい。周りには不可能だと言われていたにも関わらずここまで来れたのは、他でもない全員の協力があったのことだ。感謝している」

雄二が全員に礼をいつている。

律 「坂本どうしたの？らしくないよ？」

雄二 「ああ、自分でもそう思う。だが、これは偽らざる俺の気持ちだ。」

確かにFクラスがAクラスに仕掛けるまで来たというのは誰も予想してないと思う。

雄二「ここが最後だ。絶対にAクラスに勝つ。勝って、生き残るには勉強だけが全てじゃないという現実を、教師に見せるんだ!!」

雄二が言った瞬間クラスから歓声の声があがる。

モブ1 「そうだぜーっ！」

モブ3 「勉強だけじゃねーっ！」

モブ5 「うおーっ！」

雄二「皆ありがとう。そして残るAクラス戦だが、これは一騎打ちで決着をつけたいと考えている。」

モブ2「どういう事だ？」

モブ4「誰と誰が一騎打ちするんだ？」

モブ1「本当に勝てるのか？」

雄二「落ち着いてくれ。それを今から説明する」

雄二が言うつと、クラスが静まる。クラスを勝利に導いたことで、代表として、信頼を得ていた。

雄二「やるのは、俺と翔子だ」

律「バカの坂本が勝てる訳ない……」

ヒュッ！（カッターが律に向けて投げられた音）

ガッ！（投げられたカッターを明久がつかむ音）

雄二「明久、邪魔をするな」

明久「危ないでしょ。説明を速くしてよ。」

律も言い過ぎだよ。

雄二「……まあ、その通りだ。まともにやり合っても勝ち目は五分五分だ。でもDクラス戦もBクラス戦も同じだっただろう？まとも

にやり合えば俺たちに勝ち目はなかった。

俺は翔子に勝ち、FクラスはAクラスの設備を手に入れる。俺達の勝ち揺るがない……俺を信じてくれ。神童と言われた力を、皆に見せる！」

モブ達 「おおーっ！！」

信頼の証として、男子全員が叫びを上げた。

律「でも、どうやって勝つの？。霧島さんは強いよ？」

雄二「まあ、田井中の言う通り確かに翔子は強い。まともにやりあえば勝ち目は五分五分だが、絶対に勝てる方法がある。」

雄二「方法は、教科を指定するつもりだ。」

梓 「何の教科でやるんですか？」

雄二「日本史だ。内容は小学生レベル、方式は100点満点の上限あり。純粋な点数勝負とする。」

試験召喚戦争は、テストの点で勝敗を決する物である。だからこそ、テストの点を用いた勝負であれば、方法次第では採用される。

梓 「小学生程度のレベルで満点ありですか。」

明久 「それだと満点が前提となって、ミスした方が負ける注意力勝負になるよ。」

律「同点だったら、延長戦だよ？そうになったら問題のレベルも上げられちゃうし、雄二には厳しくない？」

明久「確かに律の言うとおりだよ。」

雄二「おいおい、あまり俺を舐めるなよ？幾らなんでも、そこまですでに頼り切ったやり方を作戦にはしない。」

何か弱点でも知ってるのかな？

明久「？それなら、霧島さんの注意力を乱す方法を知っているの？」

雄二「いいや。翔子なら集中なんてしなくとも、小学生レベルのテスト程度なら何の問題もないだろう。」

そつなんだ。さすがは霧島さんだね。

明久「雄二。あまりもったいぶるないですよ。そろそろタネを明かしてよ？」

クラスの皆も明久の言葉にうなずいている。

雄二「すまない。つい前置きが長くなった」

ついに雄二の策が明らかになる。

雄二「俺がこのやり方を選った理由は一つ。ある問題が出れば、翔子は確実に間違えると知っているからだ。」

ある問題って何？

雄二 「その問題は……………大化の改新。」

漣 「大化の改新で小学生レベルと言ったら……………年号を答えるの？」

答えは645年だね。でもこんな簡単な問題間違えるの？

雄二 「秋山の言うとおりだ、その問題を翔子が間違えるのは確かだ。だからその問題が出たら俺達の勝ちだ！この設備とさようならと言っことだ！」

瑞希 「あの、坂本君」

雄二 「ん？ なんだ姫路」

。瑞希 「気になってたんですが、霧島さんとは、その……………仲が良
いんですか？」

雄二 「ああ。俺と翔子は幼馴染だ」

モブ2 「総員、狙えええ！！」

モブ2の指示により雄二に上履きが構えられる。

雄二 「なっ！？何故モブ2の指示で急に構える！？」

モブ3 「黙れ男の敵！Aクラスの前に貴様を殺す！！」

雄二 「俺が何をした！？」

雄二の幼馴染という言葉だけで、クラスが一気にバラバラに。

モブ2 「待て！モブ7。靴下はまだ早い。それは押さえつけた後で口に押し込むものだ。」

モブ2 「了解です会長！」

なんて団結力なんだ……

梓 「みんな止めてよ！今はクラス内で争ってる場合じゃないですよ！」

「すんませんした！！」

梓の一言でクラスが一瞬で元の状態を取り戻した。

雄二 「ふう…助かったぞ中野」

梓 「坂本さんに倒れられたら困るから」

雄二 「あ、ああ、すまん。」

雄二 「とにかく、俺と翔子は幼馴染で、小さい頃間違えてウソを教えたんだ」

律 「それが、大化の改新なの？」

雄二 「そうだ。アイツは1度覚えた事は、決して忘れない。俺はそれを利用し、翔子に勝つ！そうしたら俺達の机は……」

モブ達 「システムデスクだ！」

そして再びやる気が最高までに高まる。

優子 「一騎討ち？」

「そのとおりだ。Fクラスは試召戦争として、Aクラス代表に一騎討ちを申し込む」

所変わってAクラス。雄二、明久、秀吉、康太、唯、美波、姫路、漣、ムギ、梓、律で宣戦布告に来ていた。

優子 「うーん、何が狙いの？」

雄二と交渉しているのは霧島さんではなく、秀吉のお姉さん、木下優子さんだ。

雄二 「もちろん俺達Fクラスの勝利が狙いだ。」

優子 「面倒な試召戦争を手軽に終わらせることができるのはありがたいけどね、だからと言ってわざわざリスクを冒す必要も無いかな。」

雄二 「賢明だな。ところでBクラスとやりあう気はあるか？」

「Bクラスって……、まさか……」

優子 「でも、BクラスはFクラスと戦争したから、三ヶ月の準備

期間を取らない限り試召戦争はできないはずだよね？」

雄二「知っているだろ？ 実情はどうあれ、対外的にはあの戦争はく和平交渉にて終結>つてなっていることを。規約にはなんの問題もない。…… Bクラスだけじゃなくて、Dクラスもな」

優子「……それって脅迫かな？」

雄二「人聞きが悪い。ただのお願いだよ」

優子「……わかったわよ。何を企んでいるのか知らないけど、代表が負けるなんてありえないからね。その提案受けるわ。」

優子「こちらからも提案。代表同士の一騎討ちじゃなくてそうだね、お互い5人ずつ選んで、一騎討ち7回で4回勝った方の勝ち、っていうなら受けてもいいわ。」

雄二「なるほど。こつちから明久や姫路や中野が出てくる可能性を警戒しているんだな？」

優子「うん。明久君が出てきたら絶対に勝てないし、代表が調子悪くて姫路さんや中野さんが絶対調だったら、問題次第では万が一があるかも知れないから。」

雄二「安心してくれ。うちからは俺が出る。」

優子「無理よ。その言葉を鵜呑みにはできないよ。これは競争じゃなくて戦争だからね。」

雄二「そうか。それなら、その条件を呑んでも良い」

優子 「ホント？ 嬉しいな」

雄二 「勝負する内容はこちらで決めさせて貰う。その位のハンデはあってもいいはずだ。」

優子 「え？ うーん……」

翔子 「……受けてもいい」

翔子 「……雄二の提案を受けてもいい」

優子 「あれ？ 代表。いいの？」

翔子 「……その代わり、条件がある」

雄二 「条件？」

翔子 「……負けたほうは何でも一つ言うことを聞く。」

優子 「ちょっと待って。代表。二つにしてもらえないかしら。」

翔子 「分かった。じゃあ二つで。」

ムツツリー二 「……………（カチャカチャ）」

明久 「ムツツリー二、何で撮影の準備してるの！ 負ける気じゃないか！」

優子 「ごうしょう？ 勝負内容は7つの内4つはFクラスに

決めさせてあげる。三つはAクラスで決めさせて?」

雄二 「交渉成立だな」

翔子 「……勝負はいつ?」

雄二 「そうだな。10時くらいでいいか?」

翔子 「……わかった」

雄二 「よし。交渉は成立だ。教室に戻るぞ。」

そして僕達はFクラスに帰った。

第10話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 交渉編（後書き）

お願いを2つにした理由、感の良い人なら分かりますよね？そうですね。明久とあの人達にデートして貰おうか迷っているのです。感想等お待ちしております。

バカテスト 第12問

問題 第十二問 日本史

問題 以下の問いに答えなさい。

「（ ）年 キリスト教伝来」

霧島翔子の答え

1549

教師のコメント

正解です。特にコメントはありません

田井中律の答え

「雪の降りつもる中、アツキーに暖められた1993」

教師のコメント

自分の願望をいれた上に間違いです。

木下秀吉の答え

「明久とのデートをしたい1549」

教師のコメント

答えは正解ですが、自分の願望をいれなくて下さい。

島田美波

「アキに力強く抱きしめられた温もりを忘れなれない。」

教師のコメント

年号どこにもないじゃないですか。

バカテスト 第12問（後書き）

次回はAクラスとの戦闘になります。感想等お待ちしております。

第11話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 1回戦（前書き）

Aクラス戦は小出しにしていきます。

第11話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 1回戦

高橋 「では、両陣営とも準備は良いですか？」

Aクラスの担任で、学年主任の高橋教諭が立会人となり、Aクラスで、Aクラス VS Fクラスの試召戦争は始まった。

雄二 「問題ない。」

翔子 「……大丈夫。」

高橋 「それでは一人目の方、前へ。」

優子 「アタシから行くわ。」

唯 「私が行くよ。科目は英語をお願いします。」

高橋 「それでは第1回戦を開始します。」

高橋教諭の言葉と同時に英語の召喚フィールドが張られた。

唯・優子 「試獣召喚!!」

Aクラス 木下 優子 英語 382点 VS Fクラス 平沢 唯
英語 563点

Aモブ達 「何だと!!! Fクラスの癖になんであんなに点数が高いんだよ!？」

唯 「英語は私の得意科目なんだよ、それでもいつもは500点ぐらい何だけど、ナイトのために頑張ったんだよ」

モブ達 「うおおおおお。」

唯 「腕輪発動。プロミネンス。点数を100点消費して敵を燃やし尽くす。」

優子 「きゃあ!？」

Aクラス木下 優子 英語 0点 VS Fクラス平沢 唯 英語
463点

優子の召喚獣が黒焦げになっていた。

高橋先生もAクラスが負けたことに驚いているようだ。

高橋 「勝者Fクラス平沢唯。」

唯 「私の勝ちだよ。」

優子 「負けたわ。でも次は負けないわ。」

唯 「こつちだって負けないよ。」

こつして1回戦はFクラスが勝利した。

第11話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 1回戦（後書き）

みなさんに質問です。Fクラスを圧勝させても問題ないですかね？
感想等お待ちしています。

バカテスト 第13問（前書き）

PV 68000、ユニーク100000越えということで作者はびっくりしています。これからも頑張っていきますのでよろしく願います。

バカテスト 第13問

問題 第十三問 化学

問題 以下の問いに答えなさい。

「ハーバー法と呼ばれる方法にてアンモニアを生成する場合、用いられる材料は塩化アンモニウムと（ ）である。」

姫路瑞希・吉井明久・中野梓の答え

「水酸化カルシウム」

教師のコメント

正解です。アンモニアを生成するハーバー法は工業的にも重要な内容なので、確実に覚えておくの良いでしょう。

土屋康太の答え

「塩化吸収材」

教師のコメント

勝手に便利な物質を作らないで下さい。

田井中律の答え

「アンモニア」

教師のコメント

それは反則ですね。

木下秀吉の答え

「明久を愛する志」

教師のコメント

吉井君の将来が心配です。大丈夫でしょうか？

バカテスト 第13問（後書き）

さて、Aクラス戦の後にデートさせようかと思うのですが、愛子と優子と秀吉で問題ありませんかね？感想のついでにお答え頂くとうれしいです。

オリキャラ 1 (前書き)

龍夜Mk2様から頂きましたオリキャラです

オリキャラ 1

名前：神崎 弥生 かんざき やよい

誕生日：12/24

性別：女性

身長：157cm

BWH：B89（D）/W57/H86

一人称：私

明久の呼び方：天使様 アキヒサ

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書・占い

嫌いなもの：喧嘩・変態（FFF団・常夏・根本・久保）

容姿：『ガンダムX』の『ティファ・アディール』似で『スタイル』のみ『モデル』体系

性格：無口で人見知りする傾向があるが、明久のことのみ凄く大胆な行動を起こす。

また実家は霧島と同じレベルの財閥。しかも財閥の会長の一人娘で、財閥令嬢。

ちなみに素性を知っているのは、同じ財閥令嬢の霧島と学園長、高橋教諭、西村教諭の4人のみ

所属：2-A

学力：姫路レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

通常時

服装：バニーガール（白）の上に『ガンダムX』風の鎧を装着 アーマー

武装：『ガンダムXデИБライダー』の『盾』 デИБライダー と『銃』 ヒームシンガン を装備

腕輪：万能鎧：服装の鎧以下に変化 オールレンジ・アーマー

消費：100点

基本（現国・古典）：ガンダムX

社系（日本史・世界史・現社）：ガンダムエアマスター

理数（数学・物理・化学）：ガンダムレオパルド

英語・保健体育：ガンダムXデイバイダー

総合：ガンダムダブルX

オカルト時：サキュバス

オリキャラ 1（後書き）

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があってもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

オリキャラ 2 (前書き)

龍夜Mk2様からオリキャラを頂きました。

オリキャラ 2

名前：河本 さつき（かわもと さつき）

誕生日：9 / 14

性別：女性

身長：154 cm

BWH：B83（B） / W50 / H82

一人称：私

明久の呼び方：王子様
あきひさ

好きなもの / 趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書
嫌いなもの：喧嘩・変態（FFF団・常夏・根本・久保）

容姿：『ジンキ・エクステンド』の『川本 さつき』似だが、身長
が10 cm UP、スリーサイズの関係かバストが『A』ではなく『
C』に近い『Bカップ』に

性格：基本、大人しく引つ込み思案な性格だが、いざ決断すると大
胆で思いきりのいい行動を見せる。また好きな明久の事になると一
途な乙女に変わる。

両親が厳しかったため、家事全般は得意で特に『料理』や『洗濯』
などの家事関係は、かなりの腕前

所属：2 - A

得意科目 英語以外（600点以上）

苦手科目 英語（400点前後）

・召喚獣

服装：メイドの上に『ナナツライト』風の鎧アイマーを装着

武装：ハンドガンアイマーを2丁装備

腕輪：矛盾：服装の鎧アイマー以下に変化

消費：100点

基本（現国・古典・日本史・世界史・現社）：ナナツライト
理数（数学・物理・化学）英語・保健体育：ナナツマイルド

総合：モリビト2号（飛行ユニット装備型）
オカルト時：サキュバス

オリキャラ 2 (後書き)

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があってもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

Fクラス女子設定（バカテス side）

name：姫路瑞希 ひめじ みずき

誕生日：12/21

性別：女性

身長：152cm

BWH：B100（F）/W60/H96

一人称：私

明久の呼び方：明久君

好きなもの／趣味：明久・家事全般・編み物・勉強・読書
嫌いなもの：喧嘩・虫類・怖いもの
召喚獣

原作の装備で剣の長さが伸び、防具の強度がUPした。

性格は原作のままで、明久に対して、暴力を振るわない。料理の腕が絶品料理を作ることに変更。

name：島田 美波 しまだ みなみ

誕生日：10/10

性別：女性

身長：156cm

BWH：B75（A）/W54/H76

一人称：ウチ

明久の呼び方：アキ

好きなもの／趣味：明久・家事全般・可愛いぬいぐるみ
嫌いなもの：喧嘩・虫類・怖いもの
召喚獣

原作のままの装備。

性格は原作のままで、明久に対して、照れ隠しをしない。明久に対して暴力を振るわない。

n a m e : 木下 秀吉きのした ひでよし

誕生日：10 / 10

性別：女性

身長：154 cm

B W H : B 8 8 (D) / W 4 9 / H 8 7

一人称：私

明久の呼び方：アキヒサ

好きなもの / 趣味：明久・家事全般・演技

嫌いなもの：喧嘩・虫類・怖いもの

召喚獣

原作のままの装備。

性格は原作のまま、明久に対しては乙女的に迫る。

Fクラス女子設定（バカテスside）（後書き）

次回はけいおんの5人を書きたいと思っています。

Fクラス女子設定(けいおんside)

name:平沢 唯^{ひらさわ ゆい}

誕生日:11/27

性別:女性

身長:156cm

BWH:B92(E)/W56/H94

一人称:私

明久の呼び方:ナイト

好きなもの/趣味:明久・甘いもの・可愛い物

嫌いなもの:喧嘩・虫類・怖い物・変態・常識がない人

name:秋山 澪^{あきやま みお}

誕生日:10/10

性別:女性

身長:160cm

BWH:B100(F)/W59/H97

一人称:私

明久の呼び方:旦那様

好きなもの/趣味:明久・料理・可愛いぬいぐるみ

嫌いなもの:喧嘩・虫類・怖いもの

name:田井中 律^{たいなか りつ}

誕生日:8/21

性別:女性

身長:154cm

BWH:B82(A)/W54/H76

一人称:私

明久の呼び方:アッキー

好きなもの／趣味：明久・料理・怖い話
嫌いなもの：喧嘩・虫類・明久をないがしろにする人

name：琴吹 紬 ことぶき つむぎ

誕生日：7 / 2

性別：女性

身長：157cm

BWH：B92（E） / W55 / H93

一人称：私

明久の呼び方：明久様

好きなもの／趣味：明久・明久と過ごす時間

嫌いなもの：なし

召喚獣

原作のままの装備。

性格は原作のままで、明久に対しては乙女的に迫る。

name：中野 梓 なかの あずさ

誕生日：11 / 11

性別：女性

身長：150cm

BWH：B88（D） / W50 / H88

一人称：私

明久の呼び方：アキ様

好きなもの／趣味：明久・料理・可愛い服をきるこ

嫌いなもの：喧嘩・虫類

Fクラス女子設定（けいおんside）（後書き）

唯達や明久達の召喚獣の装備の案を募集します。なかなか考えるのが難しいですね。次回はAクラス戦を進めていこうと思います。

第12話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 2回戦（前書き）

しばらくぶりに本編を更新しました。遅れて大変申し訳ありませんでした。

第12話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 2回戦

高橋 「では2回戦を始めます。次の人は前へ出て下さい。」

佐藤 「私が出ます。科目は物理でお願いします。」

Aクラスからは佐藤美穂。Fクラスからは、

雄二 「よし。頼んだぞ。秋山」

漣 「え？私？」

雄二 「大丈夫だ。お前の得意科目なんだから全力でいつて来い。」

漣 「負けても怒らない？」

雄二 「怒らないから、戦つて来い。」

漣 「いつて来る。」

佐藤 「秋山さん？あなた、まさか…」

漣の相手の佐藤さんが戦きます。

漣 「あれ、気がついた？ご名答。私はの得意科目でもあるのよ。」

佐藤 「それじゃ、あなたは…！」

漣 「そうよ。あなたの想像通り私は腕輪持ちよ。」

Fクラス 秋山 漣 VS Aクラス 佐藤 美穂

物理 462点 VS 389点

一瞬で決着がついた。

漣 「腕輪発動。強撃乱射。」

漣が腕輪を発動したら弓の攻撃が全て相手に命中し、相手を戦死させた。

Fクラス 秋山 漣 VS Aクラス 佐藤 美穂

物理 432点 VS 0点

こうして2回戦はFクラスの勝利で終わった。

第12話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 2回戦（後書き）

短くて申し訳ありません。戦闘描写が難しい（汗）次回は…バカテ
ストかな？でもネタが思いつかないので更新は遅くなると思います。

バカテスト 第14問（前書き）

バカテストのアイディアが尽きてきた。どうしようと思っ悩んでいます。

バカテスト 第14問

問題 第十四問 化学

問題 以下の問いに答えなさい。

「ベンゼンの化学式を答えなさい。」

吉井明久・姫路瑞希・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

「 C_6H_6 」

教師のコメント

Aクラス並の君達には簡単でしたかね。

土屋康太の答え

『ベン+ゼン=ベンゼン』

教師のコメント

君は化学を舐めていますね。

田井中律の答え

『B-E-N-Z-E-N』

教師のコメント

後で土屋君と一緒に職員室に来なさい。

木下秀吉の答え

「明久とのデート…楽しみです。」

教師のコメント

テストに集中して下さい。吉井君の道德の点数は・にしておきます。
吉井君は後で職員室に来て下さい。

バカテスト 第14問（後書き）

次回はAクラス戦で保健体育勝負？を予定しています。感想等お待ちしています。

オリキャラ 3

名前：姫神 美夜 ひめがみ みや

誕生日：12/24

性別：女性

身長：158cm

BWH：B83（D）/W55/H83

一人称：私

明久の呼び方：アキヒサ主様

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書・
武術全般

嫌いなもの：下品な人（FFF団や雄二）・変態（根本、久保）・
ニユルニユルした軟体生物

容姿：『TOLLOVEる』の『金色の闇（大人版）』そのものだが、
『スタイル（身長・3サイズ）』のみ『同じ作品（TOLLOVEる）』
の『ルン』と同じ体系

性格：極度の人見知りする傾向があり、根は穏やかで純情。明久の
ことのみ凄く大胆な行動を起こす。

所属：2-A

学力：姫路レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

服装：『TOLLOVEる』の『金色の闇』そのもの

武装：刀と苦無×10を装備

腕輪：変身トランス：服装と武装が変化する

消費：100点

現国・古典・英語：巫女服で武装は薙刀

日本史・世界史・現社：メイド服で、武装は狙撃銃

数学・物理・化学：バニー服で武装は投げナイフ

保健体育：ナース服で武装はガトリング砲

総合：『ブラックキャット』の『イヴ』の服装（ゴスロリ風）に、

武装は野太刀×1

オカルト時：サキュバス

オリキャラ 3 (後書き)

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があってもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

オリキャラ 4 (前書き)

龍夜Mk2様からオリキャラを頂きました。

オリキャラ 4

名前：天宮 翼 あまみや つばや

誕生日：12/25

性別：女性

身長：167cm

BWH：B85(D) / W60 / H86

一人称：私

明久の呼び方：ご主人様 アキヒサ

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書
嫌いなもの：喧嘩・下品な人（FFF団や雄二）・変態（根本、久保）

容姿：『GUILTY GEAR X』の『デイズィー』そのもの
*翼と尻尾は存在しません

性格：極度の人見知りで、根は穏やかで純情で人を傷つけることを好まない優しい性格の持ち主。明久のことのみ凄く大胆な行動を起こす。

所属：2-A

学力：姫路レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

服装：『GUILTY GEAR X』の『デイズィー』そのもの

武装：弓矢

腕輪：天災

消費：100点

竜巻・稲妻・地割れ・溶岩噴火・吹雪なども『自然災害』がランダムで起こる。

オカルト時：天使

オリキャラ 4（後書き）

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があってもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

第13話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 3回戦（前書き）

今回は保健体育対決です。この方は強い（笑）

第13話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 3回戦

高橋 「では、3人目のかたどうぞ」

ムッツリーニ 「……………（スック）」

愛子 「じゃあ、ボクが行こうかな？ 1年の終わりに転入してきた工藤愛子です、よろしくね」

Fクラスからは、ムッツリーニ事土屋康太。

Aクラスからは工藤愛子。

高橋 「教科は何にしますか？」

ムッツリーニ 「……………保健体育」

愛子 「土屋君だっけ？ 随分と保健体育が得意みたいだね。でも、ボクだってかなり得意なんだよ？ ……キミと違って、実技でね」

その言葉に、Fクラスの男子全員（明久と雄二を除く）が歓声をあげた。

愛子 「明久、保健体育でボクと一緒に実技しようよ？」

明久 「是非にやりま……………」

美波 「アキにはウチと一緒にやるから、必要ないわよ！」

瑞希 「そうです！ 私とするから必要ありません！」

唯 「ナイトのために何でもするのは私の役目なんだよ。」

ムギ 「違っわ。ここは婚約者である私の役目よ。」

瑞希・美波・秀吉・唯・漣・律・梓・愛子・優子 「誰が婚約者よ
！！」

試召戦争ならぬ明久争奪戦争が始まってしまった。

高橋 「そろそろ召喚をしてください。」

愛子 「はい。サモンっと。」

ムツツリーニ 「……サモン。」

Dクラス戦にBクラス戦と、出番がなかった忍び装束に2本の小太刀を持つムツツリーニの召喚獣。

愛子 「実戦派と理論派、どっちが強いか見せてあげるよ」

愛子の召喚獣が、腕輪を発動させて突っ込む。

愛子 「それじゃ、バイバイ。ムツツリーニくん」

ムツツリーニ 「……………加速」

愛子 「え？」

突如ムツツリーニの召喚獣の姿が消え、相手の射程外に。

そして……

ムツツリーニ「……………加速、終了」

ムツツリーニが呟いてから一呼吸置き、愛子の召喚獣が倒れた。

Fクラス 土屋康太 VS Aクラス 工藤愛子

保健体育 589点 VS 0点

愛子 「そ、そんな……！ この、ボクが……！」

相当ショックを受け、愛子は床に膝をつきうなだれた。

こうして3回戦もFクラスの勝利で終わった。

第13話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 3回戦（後書き）

次回はバカテストですがネタがないので更新は未定です。

バカテスト 第15問

問題 第十五問 地理

問題 以下の問いに答えなさい。

「バルト三国と呼ばれる国名を全て挙げなさい。」

姫路瑞希・吉井明久・秋山澪・中野梓の答え

「リトアニア エストニア ラトビア」

教師のコメント

正解です。

土屋康太の答え

「アジア ヨーロッパ 浦安」

教師のコメント

土屋君にとつての国の定義が気になります。

田井中律の答え

「香川 徳島 愛媛 高知」

教師のコメント

正解不正解の前に、数が合っていないことに違和感を覚えましょう。

木下秀吉の答え

「明久がいるなら何処の国でも生活していける。」

平沢唯の答え

「ナイトのいる国がバルト三国であり、私が生きる希望なのです。」

琴吹紬の答え

「結婚生活は何処でもいいけれど、出来れば日本が良いです。明久様が外国が良いというなら私は従います。」

教師のコメント

……君達は吉井君がいれば良いのですか？

バカテスト 第15問（後書き）

感想等お待ちしております。

第14話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 4回戦（前書き）

今回初めてオリキャラ登場させましたが、話言葉が分からないので
良く書けてないと思います。あとで修正したいと思います。

第14話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 4回戦

高橋 「これで3対0ですね。次の人は？」

瑞希 「あ、は、はいっ。私ですっ！」

久保 「それなら、僕が相手をしよう。」

Fクラスからは姫路瑞希、Aクラスからは学年次席の久保利光。

雄二 「ここが一番の心配所だな。」

明久 「学年次席争対決だね。」

瑞希は振り分け試験で途中退席したものの、二人の点差はほとんどないため、どちらが学年次席でもおかしくはない。

高橋 「科目はどうしますか？」

久保 「総合科目でお願いします」

総合科目は学年順位がそのまま影響する。

瑞希 「構いません！」

Fクラス 姫路瑞希 VS Aクラス 久保利光

総合科目 4671点 VS 3997点

Aモブ2 「ま、マジか!？」

Aモブ9 「いつの間にこんな実力を!？」

Aモブ5 「この点数、霧島翔子に匹敵するぞ……!」

至る所から驚きの声が上がった。

点数差600点オーバーなのだから、無理もない。

久保 「ぐっ……! 姫路さん、どうやってそんなに強くなったんだ?」

瑞希 「……私、明久君が好きなんです。好きな人の為ならいくらでも頑張れるんです。」

久保 「Fクラスが好き?」

瑞希 「はい。だから、頑張れるんです」

瑞希が礼をした後に、下がる。

明久 「御苦労さま、瑞希。」

瑞希 「はい。明久君。」

高橋 「4対0で勝者Fクラス」

モブ達 「やったー!!」

モブ1 「俺らAクラスに勝ったんだよな。」

モブ2 「この設備からおさらばというわけだな。」

美夜 「待つて。まだ全部の試合が終わったわけじゃない。」

雄二 「これ以上試合を続ける理由はないだろう？Fクラスの勝利は変わらないんだからな。」

美夜 「…確かにAクラスの負けは変わらない。私は主様と戦ってデートをしてもらう。」

雄二 「主様？いつたい誰のことだ。」

美夜 「明久様のことよ。（顔を赤くしている。）」

雄二 「何！？おい明久いつたい何人の女子がお前のことを狙っているんだ！？」

明久 「ごめん。雄二。僕にも分からない。」

優子 「ちよつと姫神さん何いつてるのよ！？明久君とデートするのは私よ。」

愛子 「優子こそ何言ってるのさ。僕がアキとデートするんだから。」

Aクラスの女子達数名とFクラスの女子で明久とデートするのは自分だと言い合いを始めてしまった。

雄二 「とにかくFクラスは勝利したんだから、これ以上試合を続ける気はない。」

翔子 「待つて雄二。そんなに私に負けるのが怖い？」

雄二 「そんなことはない。だったら試合続行だ。Fクラスの勝利だけは確定ですよ？高橋先生。」

高橋 「はい。試合を続行してもFクラスの勝利は変わりありません。」

こうして残りの3試合も行われることになった。

第14話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 4回戦（後書き）

ガンダムXのティファ、コードギアスの紅月カレン、T O L O V E
の金色の闇

JINKI：EXの川本さつきの言葉が分かりません。何か参考
資料がありましたら感想やメッセージ送信して頂けると嬉しいです。
（URLを書いて頂けたら幸いです。）よろしくお願いします。

バカテスト 第16問

問題 第十六問 現代社会

問題 以下の問いに答えなさい。

「PKOとは何か、説明しなさい。」

姫路瑞希・秋山澪・中野梓の答え

「Peace Keeping Operations（平和維持活動）の略。国連の韓国のもとに、加盟各国によって行われる平和維持活動の事。」

吉井明久の答え

「Peace Keeping Operations（平和維持活動）の略。国連の韓国のもとに、加盟各国によって行われる平和維持活動の事。また、United Nations Peace keeping Operationsとも言う。」

教師のコメント

正解です。吉井君は何故先生が言おうと思った豆知識を言ってしまったのですか？

土屋康太の答え

「Pants Koshi-tsuki Oppaiの略。世界中

のスリーサイズを規定する下着メーカー団体の事」

教師のコメント

君は世界の平和の事をなんだと考えているのですか。

田井中律の答え

「パウエル、金本、岡田の略」

教師のコメント

それは世界の平和を守る人たちです。

木下秀吉の答え

「明久は誰にも渡さない。」

平沢唯の答え

「ナイトがいれば世界のことなんかどうでもいいです。」

琴吹紬の答え

「明久様と結婚できないなら世界なんてどうでもいいです。」

木下優子の答え

「秀吉、明久ちゃんとデートするなんて許せないわ。」

教師のコメント

……採点するのが嫌になってしまいますね。吉井君、生徒指導室に来なさい。今日は家に帰れないと思って下さいね（泣）

バカテスト 第16問（後書き）

ネタがマンネリ化してきて困ってます。誰かネタを下さい。感想等お待ちしています。

第15話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 5回戦

高橋 「では、5人目のかたどうぞ」

明久 「僕がいくよ。」

美夜 「私が行く。主様に勝って私がデートに行く。」

Fクラスからは、吉井明久。

Aクラスからは、姫神。

高橋 「教科は何にしますか？」

明久 「総合科目でお願いします。」

美夜 「主様。本気でいかせて貰います。」

明久・美夜 「試獣召喚。」

明久と美夜の召喚獣が出現した。

美夜の召喚獣は、金色の闇の姿を小さくした感じである。また、腕には腕輪も装備されていた。

美夜 「では、いきます。」

美夜の召喚獣が、腕輪を光らせると装備が変わった。

ブラックキャットのイヴの服装（ゴスロリ風）に、武装は野太刀に変わっていた。

明久の召喚獣に斬りかかった。

美夜「私の勝ちです。」

明久「別に腕輪を使えるのは君だけじゃないよ。僕も腕輪を使わせてもらったよ。”ベクトル操作”をね。」

美夜「え？」

突然美夜の召喚獣が動かなくなり、そこに明久の召喚獣の一撃が…。

明久「これで僕の勝ちだ。」

Fクラス 吉井明久 VS Aクラス 姫神美夜

総合科目 9826点 VS 0点

美夜「私の負け。デートなくなった（哀）」

五回戦はこれで勝負がついた。Fクラスの勝利で。

第15話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 5回戦（後書き）

書いてて思ったのですが、明久強すぎですね。美夜の点数は8000点弱ぐらいに設定させようかと考えてます。しかし、オリキャラ書くのが難しい（汗）感想等お待ちしています。

バカテスト 第17問（前書き）

今回はやってしまったという感じが非常に強いです。理由は読んで頂ければ…

バカテスト 第17問

問題 第十七問

問題 以下の問いに答えなさい。

「あなたの考える萌えを書きなさい。」

島田美波の答え

「裸にニーソックスでアキに迫る。（ウチは胸が…）」

姫路瑞希の答え

「裸エプロンで明久君に迫ります。」

中野梓の答え

「猫耳＋メイド服でアキ様を魅了します。」

平沢唯の答え

「スクール水着でナイトを誘惑する。」

秋山澪の答え

「ブルマで旦那様に迫る。」

琴吹紬・工藤愛子の答え

「強引に既成事実をつくる。（明久様と）（アキと）」

木下秀吉の答え

「明久に上目遣い＋涙目で迫る。」

木下優子の答え

「大胆な下着姿で明久君に迫る。」

姫神美夜の答え

「妹キャラ＋メイド服で主様に迫る。」

田井中律の答え

「普段どりの私でアッキーに迫る。」

教師のコメント

……吉井君。君は絶対に退学させます。決して羨ましいとか妬みはありません。

吉井明久のコメント

退学だけは勘弁して下さい（土下座＋涙目）

バカテスト 第17問（後書き）

ガンダムXのティファ、コードギアスの紅月カレン、TO LOVE
Eの金色の闇、JINKI:EXの川本さつきの言葉が分かり
ません。何か参考資料がありましたら感想やメッセージ送信して頂
けると嬉しいです。（URLを書いて頂けたら幸いです。）よろし
くお願いします。それがないと話が進められません（汗）皆様のご
協力をよろしくお願いします。

お礼&お知らせ

バカとテストとけいおん部を連載開始してから1ヶ月と少しが過ぎましたが、PV 108,000、ユニーク15,000を突破しました。

これも皆様の応援のおかげです。ありがとうございます。

オリキャラを何人かの人に投稿してもらったのですが、作者がオリキャラの原作を知らないため、登場させられない可能性が出てきてしまいました。オリキャラ3の姫神美夜は登場しましたが、残りに関しては、神崎弥生が魔法少女リリカルなのはstrickersのルーテシアと同じ感じだという風に教えてもらったので、書けそうですが、残りの二人は未定です。

オリキャラを投稿して頂いても、登場させられない可能性もありますので、ご了承下さい。

文才がない私ですが、これから頑張って連載していきたいと思いますので、応援よろしく願います。

P S 最近感想が少なくて作者は凹んでいます。感想をどしどし書いて頂けると嬉しいです。

第16話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 6回戦（前書き）

弥生点数良過ぎだなあ。明久の点数に近いからなあ。明久を100
00点オーバーにしなと駄目だなこりゃ（笑）

第16話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 6回戦

高橋 「では、6人目のかたどうぞ」

ムギ 「私がいくよ。」

弥生 「…私が出る。天使様とのデートのために。」

ムギ 「明久様とデートするのは、私です。」

Fクラスからは、琴吹紬。

Aクラスからは、神崎弥生。

高橋 「教科は何にしますか？」

弥生 「…総合科目。」

ムギ 「全力でいくわ。」

ムギ・弥生 「試獣召喚。」

ムギと弥生の召喚獣が出現した。

弥生 「…腕輪発動。」

弥生の召喚獣が、腕輪を光らせると装備が変わった。

ガンダムダブルXに変わっていた。

ムギの召喚獣に攻撃した。

弥生「…私の勝ち。」

ムギ「私も腕輪を使うわ。」

弥生「…え？」

弥生の攻撃を受けたはずなのに、ムギの召喚獣の点数はさほど減っていない。

ムギ「私の腕輪は絶壁。」

Fクラス 琴吹紬 VS Aクラス 神崎弥生

総合科目 4592点 VS 7012点

弥生「…私の方が点数は上」

ムギ「私の腕輪を使った場合自分が受けるはずのダメージを攻撃した相手に与えるのよ。」

弥生「…何ですって!？」

Fクラス 琴吹紬 VS Aクラス 神崎弥生

総合科目 4592点 VS 3997点

ムギ「これで終わりよ。」

ムギの攻撃が急所にあたり、弥生の召喚獣の点数が0になった。

Fクラス 琴吹紬 VS Aクラス 神崎弥生

総合科目 4592点 VS 0点

六回戦はFクラスの勝利で幕が降りた。

第16話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 6回戦（後書き）

ムギの腕輪便利だなあと書いていて思いました。感想等お待ちしています。

バカテスト 第18問（前書き）

いったい何人の女の子が明久を狙ってるのだろう。羨ましいなあ。

バカテスト 第18問

問題 第十八問

問題 以下の問いに答えなさい。

「社会で生きていくために必要な物は何か書きなさい。」

島田美波の答え

「アキ」

姫路瑞希の答え

「明久君」

中野梓の答え

「アキ様」

平沢唯の答え

「ナイト」

秋山澪の答え

「旦那様」

琴吹紬の答え

「明久様」

工藤愛子の答え

「アキ」

木下秀吉の答え

「明久」

木下優子の答え

「明久君」

姫神美夜の答え

「主様」

田井中律の答え

「アッキー」

神崎弥生の答え

「…天使様」

教師のコメント

吉井君、君は1週間補習です。覚悟しなさい。

吉井明久のコメント

1週間は勘弁して下さい(土下座)

バカテスト 第18問（後書き）

さて、Aクラス戦が終わったら明久はデートしますが、学園祭の出し物は原作のまま、中華喫茶で良いですかね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0577x/>

バカとテストとけいおん部

2011年11月4日13時12分発行